D01214501C

TEAC

# 取扱説明書

# CD-P800NT

## CD/ネットワークプレーヤー

ティアック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。
また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

TEAC CD/NETWORK PLAYER CD-P800NT
STANDBY/ON SOURCE MENU/ENTER
PHONES LEVEL MIN MAX iPod/iPhone RETURN

Made for iPod iPhone
dlna CERTIFIED
COMPACT disc DIGITAL AUDIO
radiko.jp IP Simulcast Radio

# 目次



MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

"DSD" is a registered trademark.

This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.

Microsoft, Windows, Windows Media and Internet Explorer are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

"Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
Please note that the use of this accessory with iPod, or iPhone may affect wireless performance.

Apple, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

Android is a trademark of Google Inc.

DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED® are trademarks,service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは別紙「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」に記載します。

# お使いになる前に

## 付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げげになった販売店または弊社 AV お客様相談室 ( 裏表紙に記載 ) にご連絡ください。

**RCA オーディオケーブル x 1**
**リモコン (RC-1310) x 1**
**リモコン用乾電池 ( 単 4) x 2**
**取扱説明書 ( 本書 ) x 1**

## 使用上の注意

直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。変色や変形、故障の原因となります。

再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。

本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因になります。

本機がスタンバイ状態のときは、待機電力が消費されます。

## ユーザー登録について

TEAC のウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願いいたします。
http://teac.jp/support/registration/

## お手入れ

トップカバーやパネル面の汚れは、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

### 音のエチケット

楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

音のエチケット

# 安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

<table>
<tr><th>警告</th><th>以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</th></tr>
<tr><td>電源プラグをコンセントから抜く</td><td>万一、異常が起きたら<br>煙が出たり、変なにおいや音がするときは<br>機器の内部に異物や水などが入ったときは<br>この機器を落としたり、カバーを破損したときは<br>すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。<br>異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。<br>販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) に修理をご依頼ください。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">禁止</td><td>電源コードを傷つけない<br>電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない<br>電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない<br>コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。<br>万一、電源コードが破損したら ( 芯線の露出、断線など )、販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) に交換をご依頼ください。</td></tr>
<tr><td>交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない<br>この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 ( 交流 100 ボルト ) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。</td></tr>
<tr><td>この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上 ) 離して置く<br>ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける<br>すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。</td></tr>
<tr><td>指示</td><td>電源プラグにほこりをためない<br>電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。<br>定期的 ( 年 1 回くらい ) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。</td></tr>
<tr><td>禁止</td><td>機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない<br>内部に水が入ると火災・感電の原因となります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">分解禁止</td><td>この機器のカバーは絶対に外さない<br>カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。<br>内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) にご依頼ください。</td></tr>
<tr><td>この機器を改造しない<br>火災・感電の原因となります。</td></tr>
</table>

| 注意 | 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。 |
|---|---|
| 電源プラグをコンセントから抜く | **移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す**<br>コードが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。 |
| | **旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く**<br>通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。 |
| 指示 | **オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する**<br>**また、接続は指定のケーブルを使用する** |
| | **この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする**<br>異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。 |
| 禁止 | **ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない**<br>**湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない**<br>**調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない**<br>火災・感電やけがの原因となることがあります。 |
| | **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない**<br>コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。<br>必ずプラグを持って抜いてください。 |
| 禁止 | **濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**<br>感電の原因となることがあります。 |

愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (34 ページに記載 ) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

# 安全にお使いいただくために(続き)

## 電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

### 警告　乾電池に関する注意

| 禁止 | **乾電池は絶対に充電しない**<br>破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。 |
| --- | --- |

### 警告　電池に関する警告

| | |
| --- | --- |
| 強制 | **電池を入れるときは、極性表示(プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる**<br>間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| | **長時間使用しないときは電池を取り出しておく**<br>液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。 |
| 禁止 | **指定以外の電池は使用しない**<br>**新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない**<br>破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。 |
| | **炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない**<br>本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。 |

### 注意　電池に関する注意

| | |
| --- | --- |
| 禁止 | **金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない**<br>ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。 |
| | **電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない**<br>電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。 |
| 分解禁止 | **分解しない**<br>電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。 |

# iPod/iPhone を使うには

以下の Apple 製品を本機に接続して使うことができます。

iPhone 5s、iPhone 5c、iPhone 5
iPhone 4s、iPhone 4
iPhone 3GS、iPhone 3G
iPhone
iPod touch（第 1、第 2、第 3、第 4、第 5 世代）
iPod classic
iPod nano（第 2、第 3、第 4、第 5、第 6、第 7 世代）

下記の弊社ホームページの iPod 動作確認表もご参照ください。

http://www.teac.co.jp/audio/teac/support_ipod.html

- 本機では、iPod/iPhone のビデオは出力できません。
- 本機の USB 端子に iPod/iPhone を接続するには、iPod/iPhone に付属の USB ケーブルをお使いください。

## iPod/iPhone 用ソフトウェア

お使いの iPod/iPhone が本体やリモコンの操作ボタンで正常に動作しない場合、最新の iPod/iPhone ソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
以下のサイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

http://www.apple.com/jp/downloads/

# アプリについて

アプリを iPod touch/iPhone または Android デバイスにインストールすると無線ネットワークの環境で、本機の基本操作が可能になります。

- アプリは無料でダウンロードしてご使用いただけます。

### iPod touch/iPhone 用アプリの入手方法

App Store にて「Teac Avr Remote」で検索してください。

### Android 用アプリの入手方法

Google play (https://play.google.com/store) ページにて「Teac Avr Remote」で検索してください。

# ディスクについて

## 本機で再生できるディスク

「COMPACT disc DIGITAL AUDIO」
ロゴマークのある CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

**音楽 CD フォーマットで正しく記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。**
**または、MP3/WAV ファイルが記録され、ファイナライズされた CD-R および CD-RW。**

本機は上記のディスクをアダプターなしで再生することができます。上記以外のディスクは再生できません。

⚠ **注意**

**上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。**

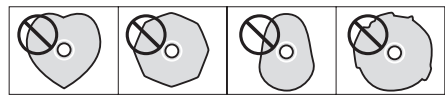
- コピーコントロール CD や Dual Disc など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクは正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証致しかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

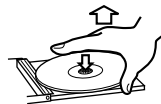
## CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマット (CD-DA) と MP3/WAV 形式で記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。
- ディスクの品質、録音の状態によっては、再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。
- CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクの発売元にお問い合わせください。

## 使用上の注意

- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ハート形や八角形など特殊形状の CD は、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- プリンターでラベル面への印刷が可能な CD-R/CD-RW を本機に長時間入れたままにしておきますと、ディスクが内部で貼り付き、取り出せなくなったり、故障の原因となるおそれがあります。
  必要なとき以外は、ディスクを取り出してケースに保管してください。なお、印刷直後のディスクは特に貼り付きやすいので、使用しないでください。

## ディスクの取り扱い

- ディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。
- 信号記録面 ( レーベルがない面 ) に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- ディスクをケースから取り出すときは、ケースの中心を押しながら、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　持ち方

## ディスクの保存について

- 使用後のディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿の場所には放置しないでください。ディスクが変形・変質して、再生できなくなるおそれがあります。
- CD-R/CD-RW は、通常の CD と比べて熱や紫外線の影響を受けやすいため、直射日光が当たる場所や熱を発生する器具の近くなどに長時間放置しないでください。
- ディスクの汚れは音飛びや音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。

## お手入れ

- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
- レコードクリーナー、帯電防止剤、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。

## MP3/WAV について

本機は CD-R/CD-RW に記録された MP3/WAV ファイルを再生することができます。

- 再生可能オーディオファイルフォーマット

MP3( 拡張子「.mp3」、「.MP3」)

| | |
|---|---|
| 規格 | MPEG1/2 Audio Layer-2/3 |
| サンプリング周波数 | 16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48kHz |
| ビットレート | 8k ～ 320kbps および VBR |

- VBR(Variable Bit Rate) に対応しています。VBR 再生中はディスプレーの時間情報などが正しく表示されないことがあります。

WAV ( 拡張子「.wav」、「.WAV」)

| | |
|---|---|
| サンプリング周波数 | 8k/11.025k/12k/16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48kHz |
| 量子化ビット数 | 8/16 ビット |

## パソコンを使って MP3/WAV ディスクを作成する際の注意

- ISO9660 規格で記録されていないディスクは再生できません。
- MP3/WAV ファイルの認識はファイル拡張子 (MP3 の場合は「.mp3」、WAV の場合「.wav」) で行います。ファイル名には必ず拡張子を付けてください。
- 拡張子のないファイルは認識できません。また、ファイル名に拡張子をつけていても MP3 または WAV データ形式でないファイルは再生できません。
- CD-R/CD-RW への記録後は、クローズセッション ( ディスクの作成を完了 ) してください。クローズセッションされていないディスクは再生できません。
- 本機で再生できる最大フォルダー数は 99 です。また、フォルダー ( ルートを含む ) とファイルの合計が 499 まで認識、再生することができます。
- マルチセッションで記録されたディスクには対応していません。最初のセッションのみ再生します。
- ディスクの状態によっては、本機で再生できなかったり、音が途切れることがあります。
- 著作権保護された音楽ファイルは本機で再生することはできません。

## 本機で再生できる音楽ファイル

USB、ネットワーク経由で再生できる音楽ファイルは以下の通りです。

### MP3

拡張子　.mp3、.MP3
規格　MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer-3
サンプリング周波数　8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート　8k ～ 320kbps および VBR

### WMA

拡張子　.wma、.WMA
サンプリング周波数　8kHz、11.025kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート　5k ～ 320kbps および VBR

- 著作権保護されたファイルは、再生できないことがあります。
- WMA Pro/Voice 非対応

### WMA Lossless

拡張子　.wma または .WMA
サンプリング周波数　44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz
量子化ビット数　16 ビット、24 ビット

### WAV

拡張子　.wav、.WAV
サンプリング周波数　8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
量子化ビット数　8 ビット、16 ビット、24 ビット

- WAV ファイルは非圧縮の PCM デジタルオーディオを含みます。

### AAC

拡張子　.aac、.m4a、.mp4、.3gp、.3g2、.AAC、.M4A、.MP4、.3GP、.3G2
規格　MPEG-2/MPEG-4 Audio
サンプリング周波数　8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz
ビットレート　8k ～ 320 kbps および VBR

### FLAC

拡張子　.flac、.FLAC
サンプリング周波数　8kHz、11.025kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz
量子化ビット数　8 ビット、16 ビット、24 ビット

### Ogg Vorbis

拡張子　.ogg、.OGG
サンプリング周波数　8kHz、11.025kHz、16kHz、22.05kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz
ビットレート　48k ～ 500kbps および VBR

- 互換性のないファイルは再生できません。

### LPCM (Linear PCM)

サンプリング周波数　44.1kHz、48kHz
量子化ビット数　16 ビット

- ネットワーク経由での再生のみに対応しています。

### Apple Lossless

拡張子　.m4a、.mp4、.M4A、.MP4
サンプリング周波数　8kHz、11.025kHz、12kHz、16kHz、22.05kHz、24kHz、32kHz、44.1kHz、48kHz、64kHz、88.2kHz、96kHz
量子化ビット数　16 ビット、24 ビット

### DSD

拡張子　.dsf、.DSF
サンプリング周波数　2.8224 MHz、5.6448MHz

**注意**

- リモート再生では、本機は次のフォーマットには対応していません
  FLAC、Ogg Vorbis、DSD
- ネットワーク経由で音楽ファイルを再生する場合、上記のフォーマットであっても再生できる音楽ファイルは、ネットワークサーバーに依存します。たとえば、Windows Media Player 11 をお使いの場合、パソコンに入っているすべての音楽ファイルを再生できるわけではなく、Windows Media Player 11 のライブラリに登録されている音楽ファイルのみを再生できます。
- VBR（可変ビットレート）で記録されたファイルを再生した場合、再生時間が正しく表示されないことがあります。

## USB メモリーについて

本機では USB メモリーを使用できます。

- USB メモリーのフォーマットは、FAT16、FAT32 に対応しています。
- USB メモリーがパーティションで区切られている場合、本機では複数の USB メモリーとして認識されます。
- 1 フォルダーにつき 20000 曲まで、フォルダーは 16 階層まで対応しています。
- 本機はハブおよびハブ機能付き USB 機器に対応していません。これらの機器を本機に接続しないでください。
- リアパネルの USB 端子 ( USB(R) ) に USB メモリーを接続した場合、サンプリング周波数 176.4kHz 以上の WAV ファイルと DSD 5.6MHz のファイルは再生できません。

**注意**

- 接続したメディアが対応していない場合、本機の表示部に「NotConnected」というメッセージが表示されます。
- 著作権保護された音声ファイルは本機では再生できません。
- 本機の USB 端子にパソコンを接続しないでください。本機の USB 端子にはパソコンから音声を入力できません。
- USB カードリーダーに挿したメディアは使えないことがあります。
- USB メモリーやその内容によっては、読み込みに時間がかかる場合があります。
- USB メモリーによっては、正しく内容を読み込めなかったり、電源が正しく供給されなかったりする場合があります。
- USB メモリーの使用に際して、データの損失や変更、USB メモリーの故障などが発生しても当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- USB メモリーに保存されているデータは、本機でのご使用の前にバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 本機はセキュリティ機能付き USB メモリーに対応していません。

## DLNA について

DLNA とは、Digital Living Network Alliance の略称で、ホームネットワーク (LAN) によってパソコンやゲーム機、デジタル家電を相互に接続し、音楽や画像、動画などのデータをやりとりするための標準化を進めている団体の名称です。本機は、DLNA ガイドライン V1.5 に準拠しています。

## サーバーについて

本機は以下の Windows Media Player に対応しています：

・Windows Media Player 11
・Windows Media Player 12
・DLNA 準拠サーバー

ネットワークサーバーは本機と同じネットワークに接続していなければなりません。
1 フォルダーにつき 20000 曲まで、フォルダーは 16 階層まで対応しています。

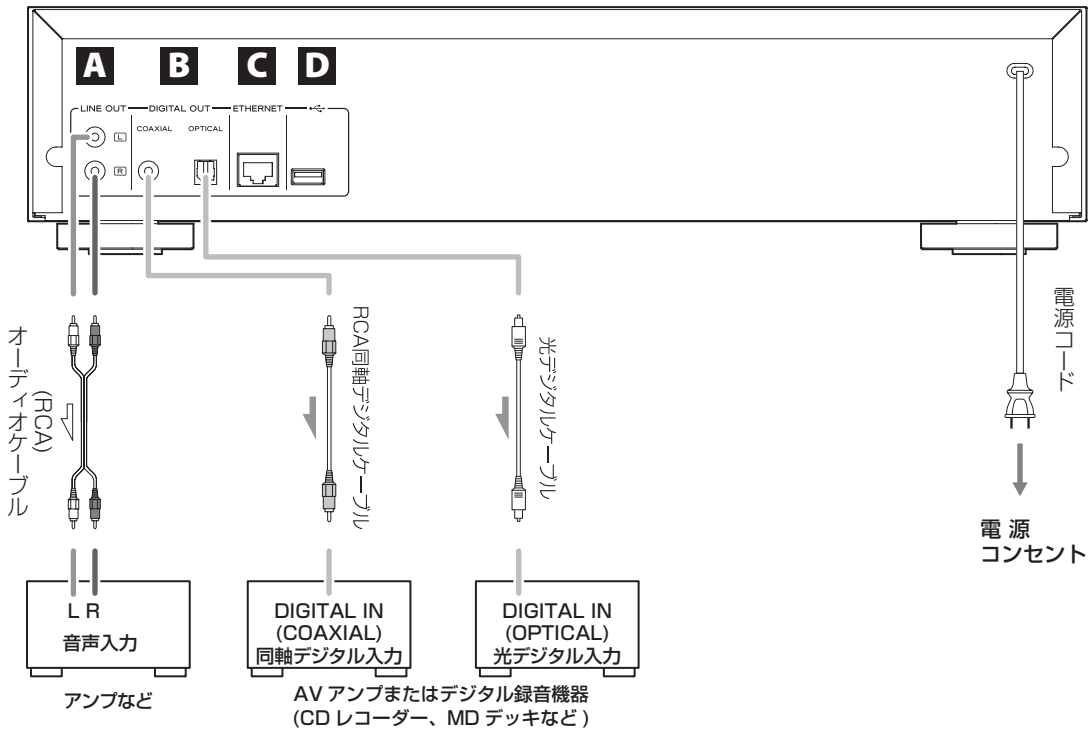
**注意**

メディアサーバーの種類によっては、本機から認識できなかったり、サーバーに保存された音楽ファイルを再生できない場合があります。

## ネットワークサービスについて

本機を通じて利用できるネットワークサービスおよびコンテンツにつきましては、サービスプロバイダー様のサービス終了により、予期せず、ご利用いただけなくなる場合があります。

# 接続

A B C D
LINE OUT DIGITAL OUT ETHERNET
COAXIAL OPTICAL
L R
オーディオケーブル (RCA)
RCA同軸デジタルケーブル
光デジタルケーブル
電源コード
電 源
コンセント
L R
音声入力
DIGITAL IN
(COAXIAL)
同軸デジタル入力
DIGITAL IN
(OPTICAL)
光デジタル入力
アンプなど
AV アンプまたはデジタル録音機器
(CD レコーダー、MD デッキなど )

## A アナログ音声出力 (LINE OUT) 端子

アナログの音声が出力されます。
付属の RCA オーディオケーブルを使って、本機の出力端子とアンプの音声入力端子を接続してください。
オーディオケーブルは白のピンプラグを白 (L) 端子に、赤のピンプラグを赤 (R) 端子に接続してください。

白(L) 白(L)
赤(R) 赤(R)

## B デジタル音声出力 (DIGITAL OUT) 端子

デジタル音声を出力します。

本機のデジタル音声出力端子 (COAXIAL または OPTICAL) を、アンプやデジタル録音機器 (CD レコーダーなど ) のデジタル音声入力端子と接続してください。

COAXIAL: 同軸デジタルケーブル (RCA)
OPTICAL: 光デジタルケーブル (TOS)

## C ETHERNET 端子

有線ネットワークやインターネットに接続をするときは、市販の LAN ケーブルを使って、この端子に接続してください。

- 入力ソースの切換え時、この端子は「NET」と表示されます。

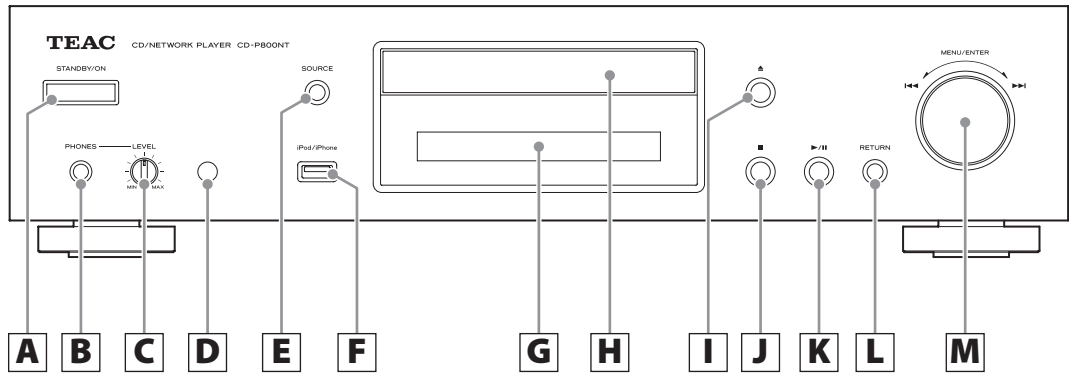
## D USB 端子

USB メモリーを接続します。

- 入力ソースの切換え時、この端子は「USB(R)」と表示されます。
- iPod/iPhone は接続できません。
- 本機の USB 端子にパソコンなどを接続しないでください。本機の USB 端子にはパソコンから音声を入力できません。

# 各部の名称（本体）

TEAC CD/NETWORK PLAYER CD-P800NT
STANDBY/ON
PHONES LEVEL
MIN MAX
SOURCE
iPod/iPhone
RETURN
MENU/ENTER

A B C D E F G H I J K L M

## A スタンバイ / オン (STANDBY/ON) ボタン

電源のスタンバイ / オンを切り換えます。

- 本機はスタンバイ ( オフ ) のとき、待機電力が消費されるので「オフ」と記載せず、「スタンバイ」または「スタンバイ状態」と記載します。

## B ヘッドホン (PHONES) 端子

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を最小にしてからヘッドホンプラグを接続し、徐々に音量を上げてください。

### ⚠ 注意

ヘッドホンを装着したまま、電源のスタンバイ / オン、またはヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。ヘッドホンから大きな音が発生することがあります。

## C レベル (LEVEL) つまみ

ヘッドホンの音量を調節します。
音量は右に回すと大きくなり、左に回すと小さくなります。

## D リモコン受光部

リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

## E 入力切換 (SOURCE) ボタン

このボタンを押すたびに再生ソースが切り換わります。

## F USB 端子

iPod/iPhone または USB メモリーを接続します。

- 入力ソースの切換え時、この端子は「USB(F)」と表示されます。
- 本機の USB 端子にパソコンなどを接続しないでください。本機の USB 端子にはパソコンから音声を入力できません。

## G ディスプレー

## H ディスクトレー

## I トレー開閉 (⏏) ボタン

ディスクトレーを開閉します。

## J 停止 (■) ボタン

再生を停止します。

## K 再生 / 一時停止 (▶/II) ボタン

停止 / 一時停止中に押すと再生を開始します。
再生中に押すと一時停止します。

## L リターン (RETURN) ボタン

メニュー表示中に押すと前のメニューに戻ります。

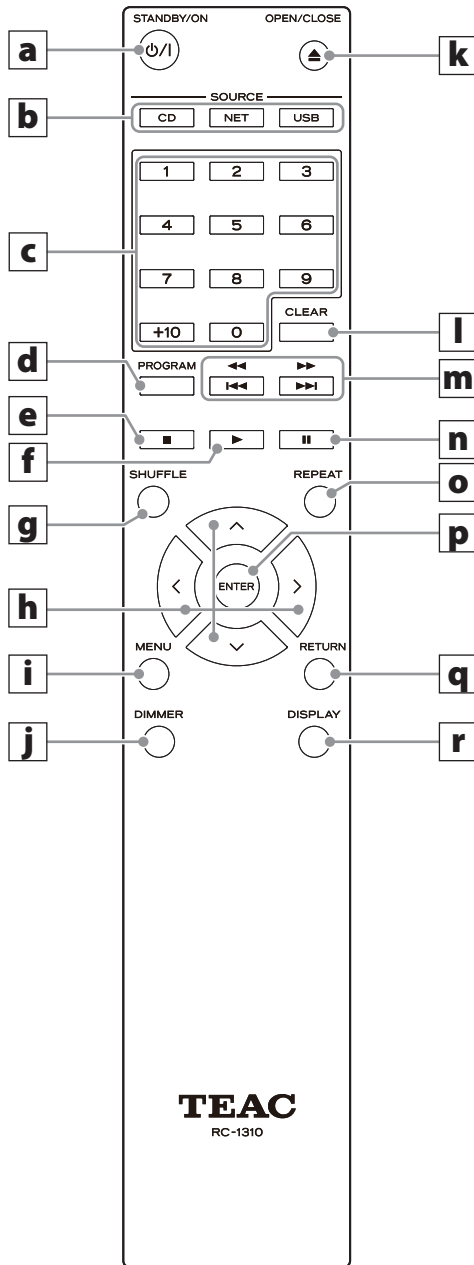
## M メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER)/(⏮/⏭)

右に回すと次の曲に、左に回すと前の曲にスキップします。

押すと ENTER ボタンとして各設定を確定し、長押しすると MENU ボタンとして機能します。

メニュー画面表示中に回すと、表示項目や設定値の変更が出来ます。

# 各部の名称（リモコン）

STANDBY/ON
OPEN/CLOSE
SOURCE
CD NET USB
1 2 3
4 5 6
7 8 9
+10 0
CLEAR
PROGRAM
SHUFFLE
REPEAT
ENTER
MENU
RETURN
DIMMER
DISPLAY
TEAC
RC-1310

本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

### a スタンバイ / オン (⏻/I) ボタン

電源のスタンバイ / オンを切り換えます。

### b 入力切換 (SOURCE) ボタン

再生ソースを切り換えます。

- USB ボタンは押すたびに「USB(F)」( フロントパネル ) と「USB(R)」( リアパネル ) に切り換わります。

### c 数字ボタン

曲番やファイル、フォルダー番号の入力に使用します。

### d プログラム (PROGRAM) ボタン

プログラム再生の設定に使用します。

### e 停止 (■) ボタン

再生を停止します。

### f 再生 (►) ボタン

停止 / 一時停止中に押すと再生を開始します。

### g シャッフル (SHUFFLE) ボタン

シャッフル再生の設定を変更します。

### h 方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタン

メニューや選択項目を変更するときに使用します。

### i メニュー (MENU) ボタン

メニュー画面を表示するときに押します。

### j ディマー (DIMMER) ボタン

ディスプレーの明るさを調節します。

### k トレー開閉 (⏏) ボタン

ディスクトレーを開閉します。

### l クリア (CLEAR) ボタン

プログラム再生の設定に使用します。

### m スキップ (⏮/⏭)/ サーチ (◀◀/▶▶) ボタン

前または後ろの曲にスキップします。
フォルダーやファイルの選択にも使います。
押し続けると、早送り / 早戻しします。

**n** 一時停止 (II) ボタン

再生中に押すと一時停止します。
一時停止中に押すと再生を開始します。

**o** リピート (REPEAT) ボタン

リピート再生の設定を変更します。

**p** エンター (ENTER) ボタン

メニューの選択や設定値を確定するときに使用します。

**q** リターン (RETURN) ボタン

メニュー表示中に押すと前のメニューに戻ります。

**r** ディスプレー (DISPLAY) ボタン

表示される情報を変更します。

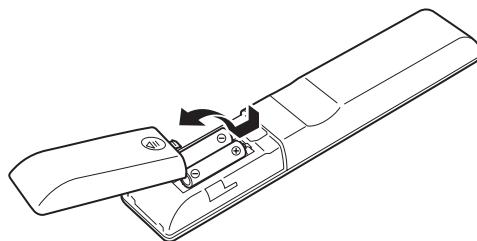
# リモコンの使い方

## 使用上の注意

**⚠ 乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。6 ページの注意をよく読んでお使いください。**

- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、5 メートル以内の距離で操作してください。
- 本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- 本体のリモコン受光部に日光や照明が干渉すると、リモコン操作ができないことがあります。その場合は本機を移動してみてください。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

## 電池の入れ方

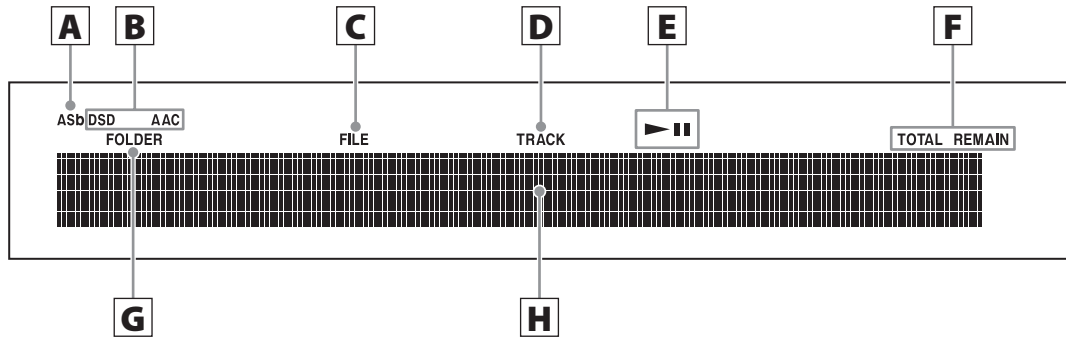
リモコン裏面のフタを外し、ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池 ( 単4形 )2 本を入れて、フタを閉めてください。

## 電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2 本とも新しい電池に交換してください。使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

# ディスプレーの表示

A B C D E F

ASb DSD AAC FOLDER FILE TRACK ►II TOTAL REMAIN

G H

## A オートスタンバイ (ASb)

オートスタンバイ (Auto Standby) がオンに設定されているときに点灯します。

## B フォーマット

ソースが USB、NET のとき、DSD、AAC フォーマットの音楽ファイル再生中に DSD、AAC がそれぞれ点灯します。

## C ファイル (FILE)

ソースが CD のとき、音楽ファイルを記録したディスクを挿入するとファイルインジケーターが点灯し、インジケーターの下にファイル番号が表示されます。

## D トラック (TRACK)

ソースが CD のとき、音楽 CD を挿入するとトラックインジケーターが点灯し、インジケーターの下にトラック番号が表示されます。

## E 再生 / 一時停止 (►/II)

## F トータル / リメイン (TOTAL/REMAIN)

ソースが CD のとき、以下のディスク情報を表示中に点灯します。
TOTAL : ディスクの総再生時間
REMAIN : 再生中の曲の残り時間
TOTAL REMAIN : 再生中のディスクの残り時間

## G フォルダー (FOLDER)

ソースが CD のとき、音楽ファイルを記録したディスクを挿入するとフォルダーインジケーターが点灯し、インジケーターの下にフォルダー番号が表示されます。

## H メッセージ表示部

曲の情報やメニューを表示します。

メッセージ表示部に以下のアイコンが表示されます。

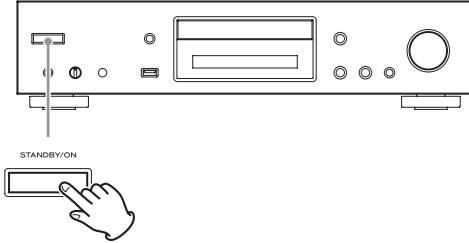
| アイコン | 説明 |
|---|---|
| | フォルダー * |
| | 曲 / 放送局名 |
| | 再生中 * |
| | 一時停止 * |
| | 早送り * |
| | 早戻し * |
| | アーティスト |
| | アルバム |
| | リピート |
| | 1 曲リピート |
| | フォルダーリピート * |
| | シャッフル |
| | シャッフルリピート ** |
| | プログラム ** |
| | プログラムリピート ** |

* ソースが CD の時は表示されません。
** ソースが CD の時のみ表示されます。

# 基本操作

ここでは、どのモードにも共通する操作について説明します。

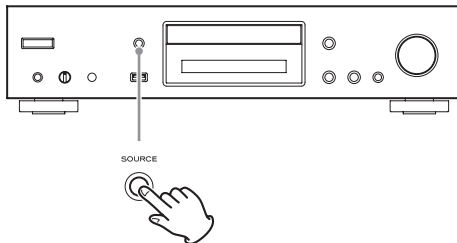
## 1 スタンバイ / オン (STANDBY/ON) ボタンを押して電源をオンにする。

STANDBY/ON

**入力ソースが CD の場合**

ディスプレーに「CD」➡CDの状態　が表示されます。

**入力ソースが CD 以外の場合**

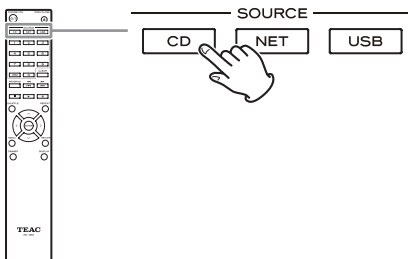
ディスプレーに「入力ソース」➡「Now Initializing...」(初期化中)➡ ソースの状態　が表示されます。

## 2 入力切換 (SOURCE) ボタンを押して再生ソースを選ぶ。

SOURCE

入力切換 (SOURCE) ボタンを押すたびに、ソースは以下のように変わります。

➡ CD ➡ NET ➡ USB(F) ➡ USB(R)

リモコンでソースを選ぶときは、聴きたいソースのボタン (CD、NET、USB) を押します。

SOURCE
CD NET USB

## 3 ソースを再生する。

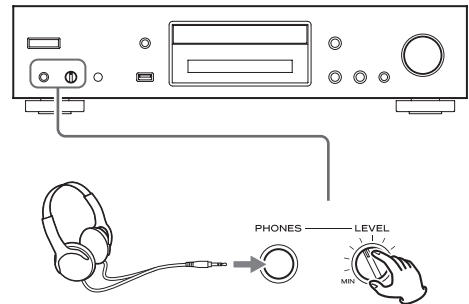
## オートスタンバイ機能について

オートスタンバイ (Auto Standby) 機能を「On」にした場合、音声入力がない状態で本機を 20 分間操作しないと、自動的にスタンバイ状態へ移行します。オートスタンバイ機能が有効になると、オートスタンバイ表示 (ASb) が点灯します。(43 ページ )

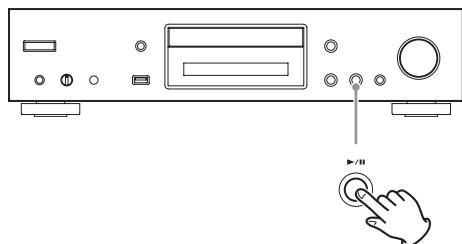
オートスタンバイから復帰するにはスタンバイ / オン (STANDBY/ON) ボタンを押してください。

## ヘッドホンを接続する

ヘッドホンをお使いになるときは、まず音量を下げてからお手持ちのヘッドホンのプラグ ( ステレオ標準プラグ ) をヘッドホン (PHONES) 端子に差し込み、レベル (LEVEL) つまみで徐々に音量を上げて調節してください。

PHONES LEVEL MIN

**⚠ 必ず音量を下げてからヘッドホンプラグを差し込み、ヘッドホンを着けるようにしてください。また、ヘッドホンを耳にかけたまま、電源のオン / スタンバイや、ヘッドホン端子の抜き差しを行わないでください。突然大きな音が出て、聴力障害の原因となることがあります。**

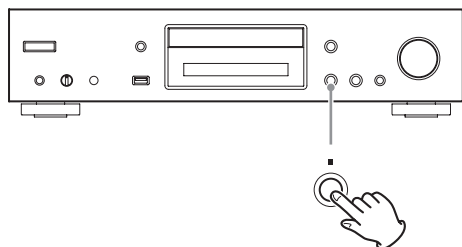
## 再生する

再生 / 一時停止 (►/II) ボタンを押します。

再生中は、ディスプレイ上部に「►」が表示されます。

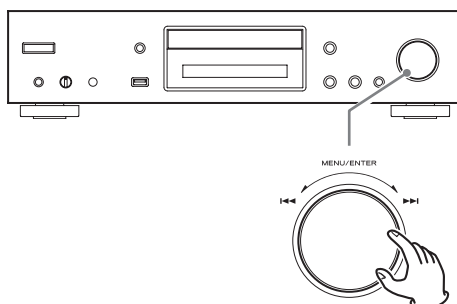
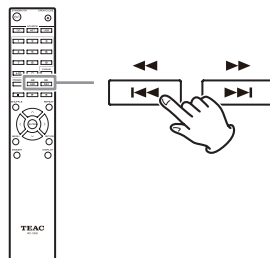
## 再生を一時停止する

再生 / 一時停止 (►/II) ボタンを押すと再生が一時停止します。
再び再生 / 一時停止 (►/II) ボタンを押すと一時停止したところから再生が始まります。

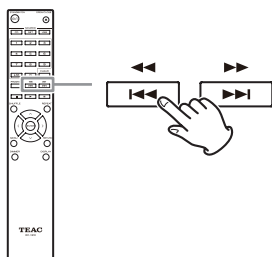
一時停止中は、ディスプレイ上部に「► II」が表示されます。

## 再生を停止する

停止 (■) ボタンを押すと再生が停止します。

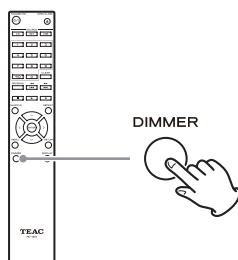
## 聴きたい曲を探す ( スキップ )

メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を回すと、前または次の曲にスキップします。希望する曲番になるまで、回してください。

リモコンで操作する場合は、スキップ (I◄◄/►►I) ボタンを押してください。前または次の曲にスキップします。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

- 再生中は、I◄◄ を 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、I◄◄ を続けて押してください。
- プログラム再生中は、プログラムの前または後ろの曲が再生されます。

## 聴きたい部分を探す（サーチ）

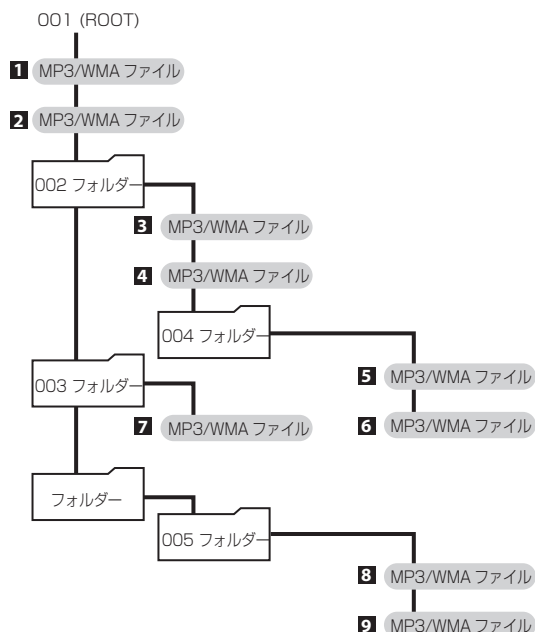
再生中にリモコンのサーチ ( ◀◀ / ▶▶ ) ボタンを押し続けている間、早戻し / 早送りされます。聴きたいところで指をはなしてください。
そこから再生されます。

## ディマー

リモコンのディマー (DIMMER) ボタンを押すたびに、ディスプレーとインジケーターの明るさが変わります。

通常 → やや暗い → 暗い

## 音楽ファイルの再生順 (CD)

音楽ファイルを記録したディスクには、通常のパソコンのファイルと同じように、音楽ファイルをフォルダーに格納しているものがあります。さらに、いくつかのフォルダーをまとめて 1 つのフォルダーに格納しているものもあります。

**音楽ファイルが記録されたディスクをノーマル再生する場合の、フォルダー番号とファイルの再生順 (1～9) の例**

001 (ROOT)
1 MP3/WMA ファイル
2 MP3/WMA ファイル
002 フォルダー
3 MP3/WMA ファイル
4 MP3/WMA ファイル
004 フォルダー
5 MP3/WMA ファイル
6 MP3/WMA ファイル
003 フォルダー
7 MP3/WMA ファイル
フォルダー
005 フォルダー
8 MP3/WMA ファイル
9 MP3/WMA ファイル

- 上記の図の順番は、ファイルやフォルダーを追加 / 削除したり、位置を変えたりすることによって変わることがあります。

# ディスプレーの表示 (CD/USB/NET)

音楽ファイルを再生中にディスプレー (DISPLAY) ボタンを押すと、ディスプレーに表示される情報が変わります。

DISPLAY

## 音楽 CD の場合

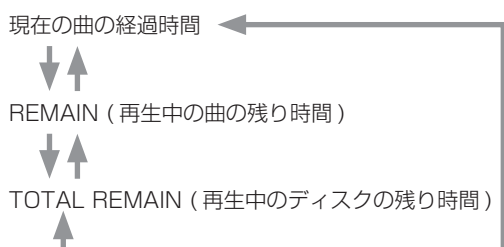
再生しているディスク情報を表示できます。

現在の曲の経過時間

↓↑

REMAIN ( 再生中の曲の残り時間 )

↓↑

TOTAL REMAIN ( 再生中のディスクの残り時間 )

- シャッフル再生や総再生時間 99 分 59 秒を超える場合、「– –:– –」が表示されます。

## MP3/WAV ディスクの場合

再生している MP3/WAV ファイルのタイトル名、アーティスト名、アルバム名の ID3 タグ情報などさまざまなファイル情報を表示できます。

現在の曲の経過時間

↓↑

ファイル名

↓↑

フォルダー名

↓↑

タイトル名 (ID3 タグのあるとき )

↓↑

アーティスト名 (ID3 タグのあるとき )

↓↑

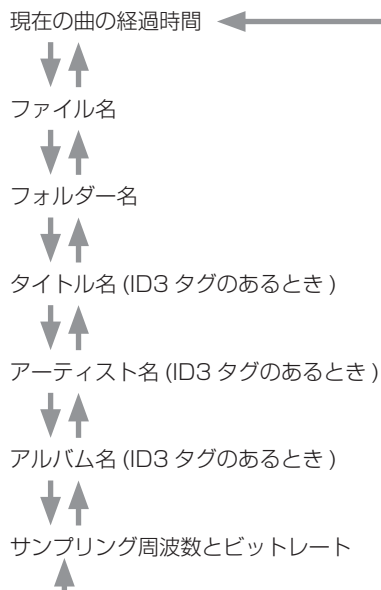
アルバム名 (ID3 タグのあるとき )

↓↑

サンプリング周波数とビットレート

- 現在再生中のファイルが 99 分 59 秒を超える場合は、「– –:– –」が表示されます。

- 曲名やフォルダー名に、表示できない文字は「*」で表示されます。表示できない文字を含んでいるときは番号で表示するように設定することもできます。「BAD NAME ( バッド ネーム )」(42 ページ ) をご覧ください。

- WAV ファイルには ID3 タグがないので、タイトル名などは表示されません。

## USB/NET の場合

再生している音楽ファイルのタイトル名、アーティスト名、アルバム名の ID3 タグ情報などさまざまなファイル情報を表示できます。

タイトル名 (ID3 タグのあるとき )

↓↑

アーティスト名 (ID3 タグのあるとき )

↓↑

アルバム名 (ID3 タグのあるとき )

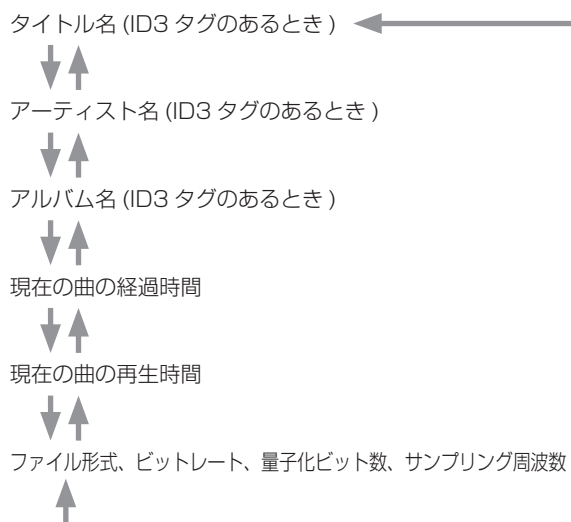
↓↑

現在の曲の経過時間

↓↑

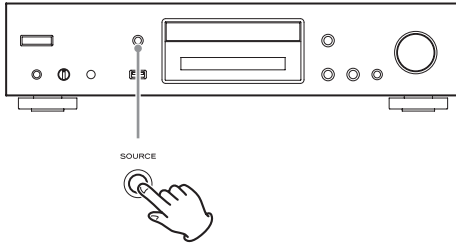
現在の曲の再生時間

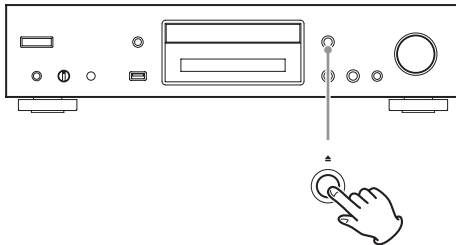
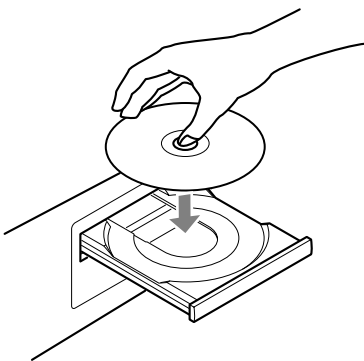
↓↑

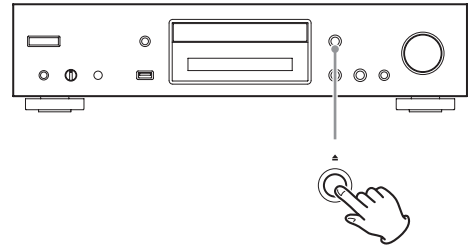
ファイル形式、ビットレート、量子化ビット数、サンプリング周波数

# CDを聴くには

以下のディスク/ファイルを再生することができます。
ディスク：CD-DA/CD-R/CD-RW
ファイル：MP3/WAV

## 1 入力切換 (SOURCE) ボタンを押して、再生ソースをCDにする。

SOURCE

リモコンで操作するときはCDボタンを押します。

## 2 トレー開閉 (≜) ボタンを押す。

## 3 ディスクのレーベル面を上にしてトレーにのせる。

- トレーにはディスクを2枚以上のせないでください。
- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがあります。ディスクは必ずトレー中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。
- トレーの開閉動作中は、手で無理やり開け閉めしないでください。

## 4 トレー開閉 (≜) ボタンを押して、トレーを閉める。

### ⚠ 注意

指をはさまないよう、ご注意ください。

「Reading」と表示され、ディスクの読み込みを開始します。

- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。ディスプレーに総曲数と総再生時間が表示されるまでお待ちください。

読み込みを終了すると以下のように表示されます。

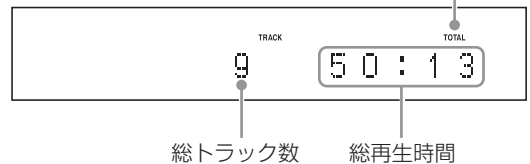
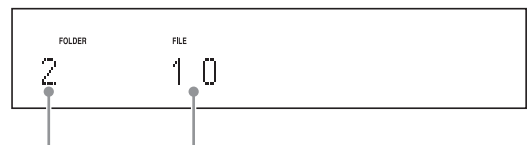
**(例) 音楽CDの場合**

ディスクの総再生時間を表示しているとき、点灯します。

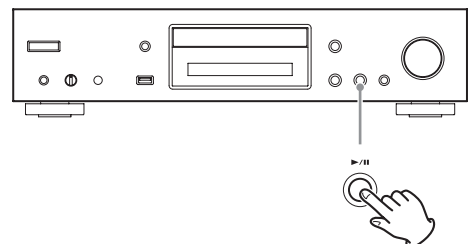
TRACK TOTAL
9 50:13

総トラック数 総再生時間

**(例) MP3/WAVディスクの場合**

FOLDER FILE
2 10

総フォルダー数 総ファイル数

- ディスクがセットされていないときは、「No Disc」と表示されます。

## 5 再生/一時停止 (►/II) ボタンを押す。

1曲目から再生が始まります。

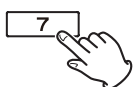
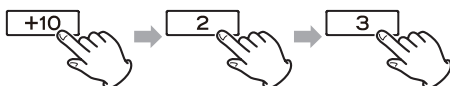
## 曲番を入力して再生する ( ダイレクトプレイ )

スキップ ( ⏮ / ⏭ ) ボタンで曲を選択する以外に曲番を入力して再生することができます。
再生中または停止中に、リモコンの数字ボタンを押して曲番を選ぶことが出来ます。
1 桁の場合は、その数字ボタンを押してください。2 桁の場合は、「+10」ボタンを押してから数字ボタンを押してください。曲番入力後、再生が始まります。

曲番 7 を入力するとき

7

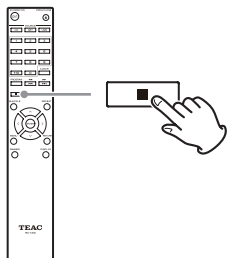
曲番 23 を入力するとき

+10 ➡ 2 ➡ 3

- プログラム再生中、またはシャッフル再生中は数字ボタンでの選曲はできません。

## MP3/WAV ディスクの曲を選択する

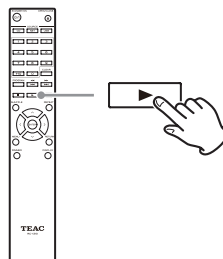
### ナビゲーションモード

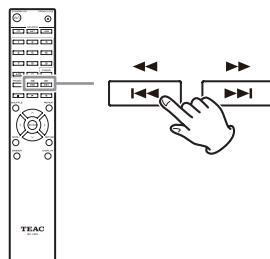
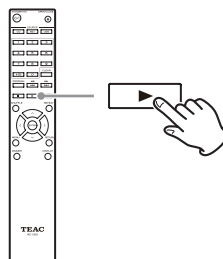
フォルダーの階層にしたがって順にフォルダーを選択し、ファイルを選びます。

**1 停止中に停止 (■) ボタンを押す。**

ディスプレーに「[Root]」( ルート ) と表示され、ナビゲーションモードになります。

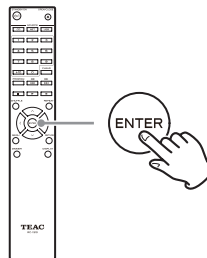
**メモ**

「STOP KEY ( ストップ キー )」(42 ページ ) 設定が「Navigation」のとき、本体の停止 (■) ボタンを押すとナビゲーションモードになります。

**2 再生 (►) ボタンを押す。**

Root の下の最初にあるフォルダー名が表示されます。フォルダーが無いときは、最初のファイル名が表示されます。

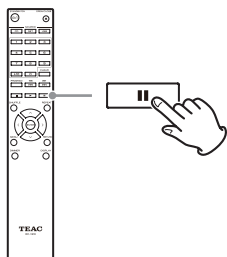
**3 スキップ ( ⏮ / ⏭ ) ボタンを押して、同じ階層にあるフォルダーやファイルを選ぶ。**

**他のフォルダー内にあるファイルやサブフォルダーを選ぶには、フォルダーを選択して再生 (►) ボタンを押す。**

スキップ ( ⏮ / ⏭ ) ボタンを使ってフォルダー内のファイルやサブフォルダーを選びます。

- 上の階層に戻るには一時停止 (⏸) ボタンを押します。

**4 エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (►) ボタンを押す。**

ファイルの再生が始まります。

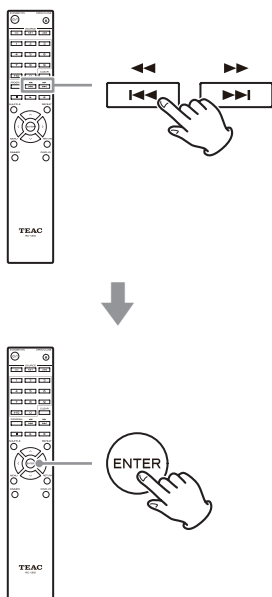
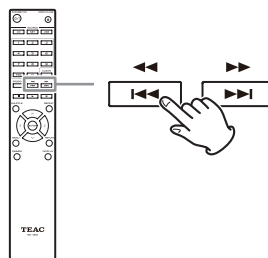
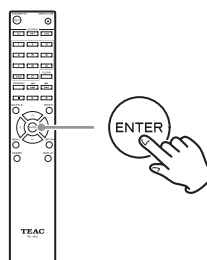
## オールフォルダーモード

すべてのフォルダーが同列に扱われ、階層には関係なく、フォルダーを選んでファイルを選びます。

**1** 停止中に一時停止 (II) ボタンを押します。

ディスプレーに「1」と表示され、オールフォルダーモードになります。

**メモ**

「STOP KEY (ストップ キー)」(42 ページ) 設定が「All Folder」のとき、本体の停止ボタン (■) を押すとオールフォルダーモードになります。

**2** スキップ (I◀◀ / ▶▶I) ボタンを押してフォルダーを選び、エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押す。

**3** スキップ (I◀◀ / ▶▶I) ボタンを押してファイルを選ぶ。

**4** エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (▶) ボタンを押す。

ファイルの再生が始まります。

# CDを聴くには(続き)

## プログラム再生

音楽CD、MP3/WAVディスクは、プログラム再生ができます。
本機は最大25曲をプログラムすることができます。

- プログラムは停止中に行ってください。

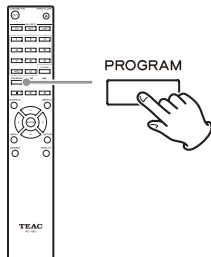
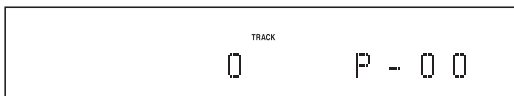
### 1 プログラム(PROGRAM)ボタンを押す。

PROGRAM

(例)音楽CDの場合

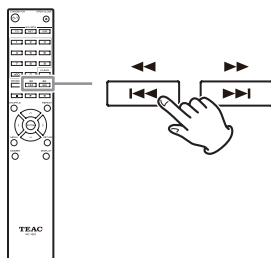
TRACK
0 P-00

(例)MP3/WAVディスクの場合

FOLDER FILE
0 0 P-00

### 2 プログラムする曲を選ぶ。

**音楽CDの場合**
スキップ(⏮/⏭)ボタンを押して、プログラムする曲を選ぶ。

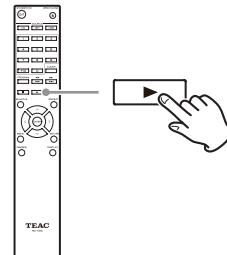
(例)

TRACK
2 4:38

トラック番号　再生時間

音楽CDの場合、数字ボタンで曲番を選択することもできます。(「曲番を入力して再生する(ダイレクトプレイ)」)

再生(►)ボタンを押して曲を登録する。

(例)

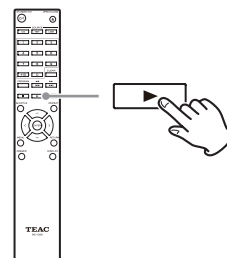
TRACK
2 P-01

トラック番号　登録されたプログラム番号

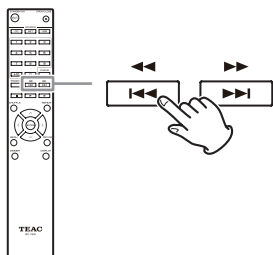
この手順を繰り返して必要な曲を登録します。

**MP3/WAVディスクの場合**
「MP3/WAVディスクの曲を選択する」(22ページ)の手順で必要な曲を登録する。

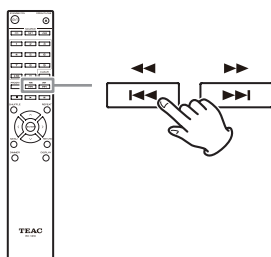
FOLDER FILE
1 3 P-01

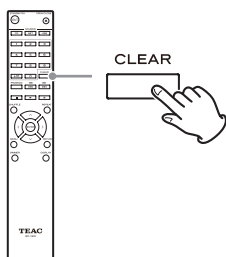
フォルダー番号　ファイル番号　登録されたプログラム番号

### 3 再生(►)ボタンを押して再生を開始する。

## 聴きたい曲を探す ( スキップ )

スキップ (⏮ / ⏭) ボタンを押すとプログラムの前または後ろの曲が再生されます。希望する曲番になるまで、続けて押してください。

- 再生中は、⏮ ボタンを 1 回押すと再生中の曲の始めに戻ります。それより前の曲を再生したいときは、⏮ ボタンを続けて押してください。

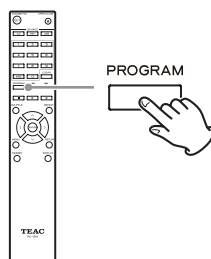
## プログラムの内容を確認する

停止中にスキップ (⏮ / ⏭) ボタンを押すと曲番号と再生時間が表示されます。

## 登録した曲を取り消す

停止中にクリア (CLEAR) ボタンを押すと、最後の登録曲から取り消すことができます。

## プログラムの最後に曲を追加する。

停止中にスキップ (⏮ / ⏭) ボタンを押して、追加する曲を表示させ、再生 (▶) ボタンを押すとプログラムの最後に曲が追加されます。

## プログラム再生を解除するには

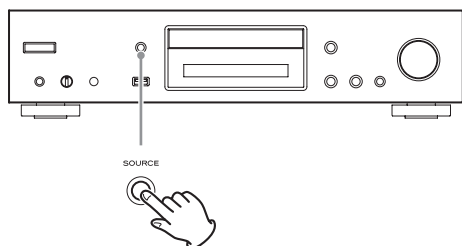
停止 (■) ボタンを押して再生を停止させ、プログラム (PROGRAM) ボタンを押します。

- トレー開閉 (⏏) ボタンを押して、トレーを開けた場合、または電源をスタンバイにした場合、プログラム再生は解除されます。

# iPod/iPhone を聴くには

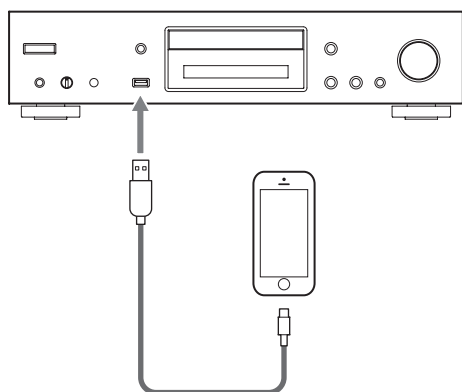
本機に接続して使うことができる Apple 製品は、「iPod/iPhone を使うには」(7 ページ) に記載されています。

以下の説明では iPod について記載していますが、iPhone についても同様です。

## 1 入力切換 (SOURCE) ボタンを押して、再生ソースを「USB(F)」にする。

SOURCE

リモコンで操作するときは USB ボタンを押します。

- iPod が接続されていない場合は、「NotConnected」(接続されていません) と表示されます。

## 2 本機と iPod を、iPod に付属の USB ケーブルで接続する。

- iPod は、フロントパネルの USB 端子 (iPod/iPhone) に接続してください。

## 3 iPod を操作して再生をします。

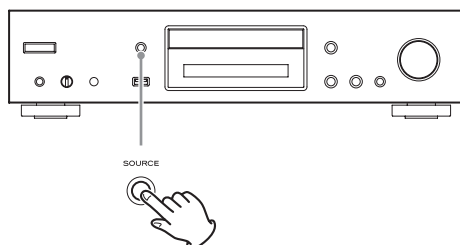
- 表示部に「USB(iPod)」と表示されます。コンテンツ情報は表示されません。
- 本機に iPod を接続すると、本機の電源がオンのときのみ充電します。フル充電すると充電を停止します。本機の電源がスタンバイのときは充電出来ません。

# USB を聴くには

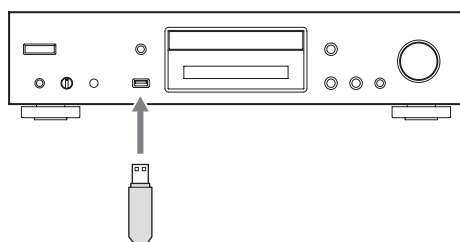
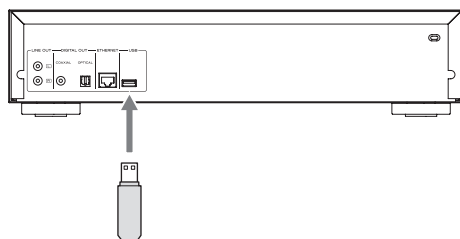
USB メモリーの音楽ファイルの再生では、リピート再生を全曲再生 (Repeat All) に設定しない限り、単一フォルダ内の同一階層の音楽ファイルのみを再生します。(28 ページ)

再生できる音楽ファイルについては、「本機で再生できる音楽ファイル」(10 ページ) をご覧ください。

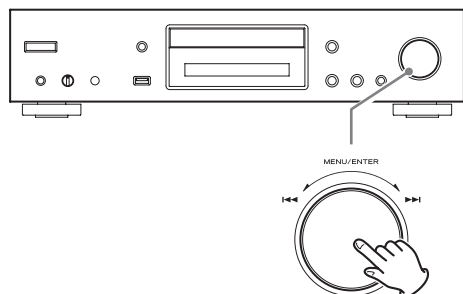
## 1 入力切換 (SOURCE) ボタンを押して、再生ソースを「USB(F)」または「USB(R)」にする。

SOURCE

リモコンで操作するときは USB ボタンを押します。

- 何も接続されていない場合は、「NotConnected」(接続されていません) と表示されます。

## 2 選択した方の USB 端子に USB メモリーを接続する。

または

USB メモリーが認識されると、USB メモリーのボリュームラベルが表示されます。

- この状態で、再生 / 一時停止 (►/❚❚) ボタンを押すと USB メモリーの音楽ファイルを含む最初のフォルダー内の曲を順次再生します。

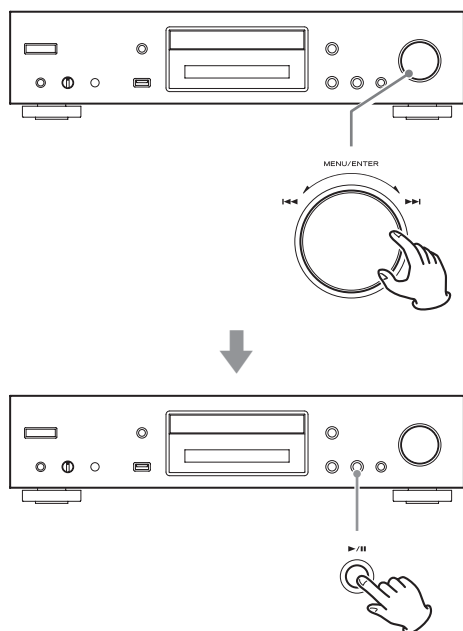
**3** メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を押す。

MENU/ENTER

曲名、またはフォルダー名が表示されます。

- リモコンの場合は、エンター (ENTER) ボタンを押します。

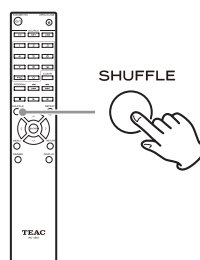
**4** メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を回して曲を選び、再生 / 一時停止 (►/❚❚) ボタン押す。

MENU/ENTER

►/❚❚

選択した曲が再生されます。

- リモコンで操作するときは方向ボタン (︿/﹀) で曲を選び、再生 (►) ボタンを押します。
- フォルダーを選択した場合、フォルダー内の先頭の曲が再生されます。
- フォルダーを選択してメニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を押すとフォルダー内の曲を選択できます。
- 再生可能な音楽フォーマットは「本機で再生できる音楽ファイル」(10 ページ ) をご覧ください。

# シャッフル再生 (CD/USB)

曲順をランダムに並べかえて再生します。
シャッフル (SHUFFLE) ボタンを押すたびにシャッフル再生が切り換わります。

SHUFFLE

**音楽 CD、MP3/WAV ディスクの場合**

曲順をランダムに並べかえて、全曲を 1 通り再生します。
このモードは停止中のみ設定できます。
シャッフル (SHUFFLE) ボタンを押してシャッフル再生モードになると、ディスプレー左側に⤮が表示されます。

- 再生中にシャッフル (SHUFFLE) ボタンを押すと、現在の再生状態「Normal Play」または「ShufflePlay」が表示され、再生状態の変更はできません。

以下の場合、シャッフル再生はキャンセルされます。

- 電源がスタンバイになったとき
- ディスクトレーを開けたとき

**USB メモリーの場合**

フォルダ内の音楽ファイルを繰り返しシャッフル再生します。
シャッフル (SHUFFLE) ボタンを押してシャッフル再生モードになると、ディスプレー左側に⤮が表示されます。
以下の場合、シャッフル再生はキャンセルされます。

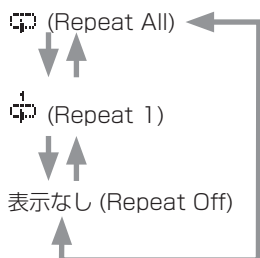
- Net Standby が「Disable」に設定された状態で、電源がスタンバイになったとき (43 ページ )
- リピート再生にしたとき (28 ページ )

# リピート再生 (CD/USB)

リピート (REPEAT) ボタンを押すたびに、以下のようにリピートのモードが変わります。

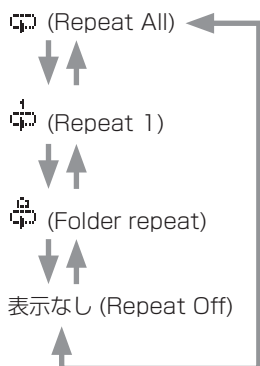
**音楽 CD、MP3/WAV ディスクの場合**
リピート (REPEAT) ボタンを押すたびにディスプレーの左側に以下のアイコンが表示されます。

- リピート再生はシャッフル再生と組み合わせることができます。

(Repeat All)
↓↑
(Repeat 1)
↓↑
表示なし (Repeat Off)

以下の場合に、リピート再生はキャンセルされます。

- 電源がスタンバイになったとき
- ディスクトレーを開けたとき

**USB メモリーの場合**
リピート (REPEAT) ボタンを押すたびにディスプレーの左側に以下のアイコンが表示されます。

(Repeat All)
↓↑
(Repeat 1)
↓↑
(Folder repeat)
↓↑
表示なし (Repeat Off)

以下の場合に、リピート再生はキャンセルされます。

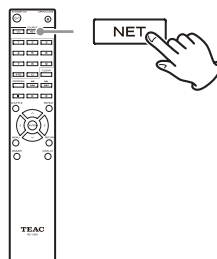
- シャッフル再生にしたとき (27 ページ )
( シャッフル再生モードを解除すると、設定したリピート再生モードに戻ります )

# ネットワークサービスについて

ネットワークサービスを利用するには、以下の手順で項目を選択してください。

**1 ネット (NET) ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させる。**

NET

TEAC

**2 方向 (∧/∨/〈/〉) ボタンを押して項目を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。**

vTuner Internet Radio
↓↑
radiko.jp
↓↑
My Favorites
↓↑
DLNA
↓↑
Home Media

各項目の操作方法は、以降の解説をご覧ください。

vTuner Internet Radio
vTuner Internet Radio は、世界中のインターネットラジオ局のポータルサイトです。音楽ジャンル別、国別などの区分で各地のラジオ局を検索できます。

radiko.jp
radiko.jp（ラジコ）は地上波ラジオ放送を CM も含め、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサイマルサービスです。

My Favorites
radiko.jp や vTuner Internet Radio 以外のインターネットラジオ番組を聴くには、番組をネットワークサービスメニューの「My Favorites」メニューに登録します。

DLNA（メディア共有）
共有ライブラリーにある音楽ファイル再生をします。

Home Media（フォルダー共有）
本機と同じネットワークに接続されたパソコンまたは、NAS(Network Attached Storage) の共有フォルダー内の曲を再生します。

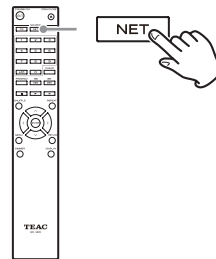
- Windows 8 または Windows 7 と、Windows Media Player 11 以降がインストールされているパソコンを使用してください。

- radiko.jp、vTuner Internet Radio、その他のインターネットラジオを聴くにはインターネットに接続する必要があります。(43 ページ）

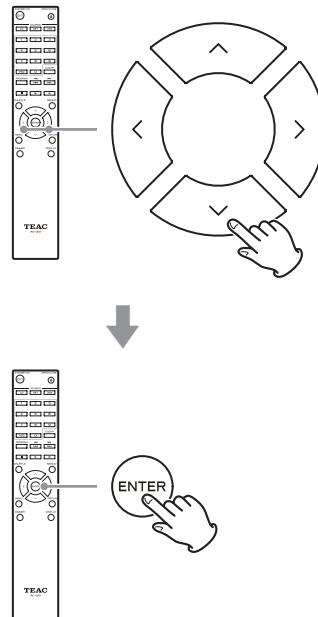
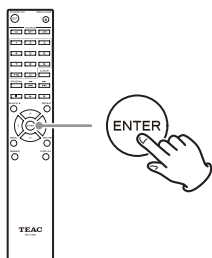
# radiko.jp

radiko.jp（ラジコ）は地上波ラジオ放送を CM も含め、そのまま同時に放送エリアに準じた地域に配信するサイマルサービスです。対応（聴取可能）エリア、対応放送局について詳しくは radiko.jp のウェブサイト (http://radiko.jp) をご覧ください。

- radiko.jp を聴くにはインターネットに接続する必要があります。(43 ページ）

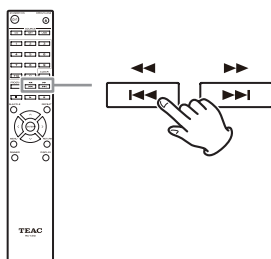
**1** ネット (NET) ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させる。

**2** 方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタンを押して「radiko.jp」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

本機が接続されているエリアに応じた放送局リストが表示されます。radiko.jp サービスが行われていない地域、もしくはサービス停止中の場合、エラーメッセージが表示されます。

次のページへ続きます。➡

**3** 方向 (︿/﹀) ボタンを押して放送局を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

ENTER

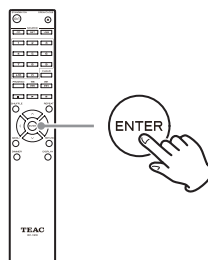
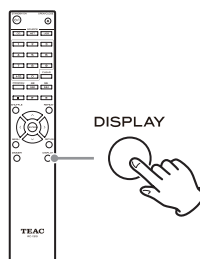
再生が開始されます。
楽曲情報を提供している放送局を選択した場合は、楽曲のアーティスト名、楽曲名が表示されます。
楽曲情報が無い放送局の場合は、番組名、出演者名が表示されます。

## 放送局を切り換える

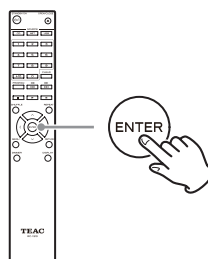
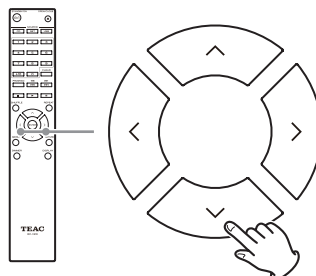
再生中に、スキップ / サーチ (⏮◀◀ / ⏭▶▶) ボタンを押すと、放送局が切り換わります。

## 番組情報を表示する

再生中の放送局の番組情報を確認することができます。

**1** ディスプレー (DISPLAY) ボタンを数回押して「Go to Menu」を表示させ、エンター (ENTER) ボタンを押す。

DISPLAY

ENTER

**2** 方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタンを押して表示する項目を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

ENTER

選択できる項目は以下の通りです。

Today's Program
当日の番組一覧が表示されます。

Tomorrow's Program
明日の番組一覧が表示されます。

Program's detail
再生している番組の番組詳細が表示されます。

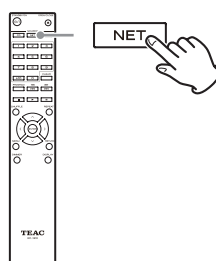
Topics
番組のトピックスが表示されます。放送された楽曲のリストやおすすめ情報など、放送をより楽しむための情報が表示されます。

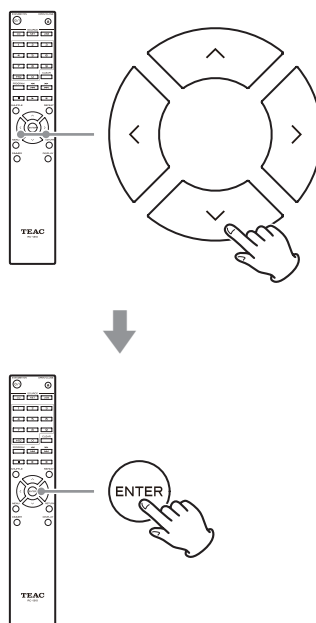
- リターン (RETURN) ボタンを押すともとの表示に戻ります。

# vTuner Internet Radio

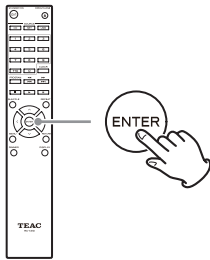
vTuner Internet Radio は、世界中のインターネットラジオ局のポータルサイトです。音楽ジャンル別、国別などの区分で各地のラジオ局を検索できます。
本機ではあらかじめ、vTuner Internet Radio が登録されています。

- vTuner Internet Radio を聴くにはインターネットに接続する必要があります。(43 ページ )

**1 ネット (NET) ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させる。**

**2 方向 (∧/∨/〈/〉) ボタンを押して「vTuner Internet Radio」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。**

サービス停止中の場合、エラーメッセージが表示されます。

次のページへ続きます。➡

**3** 方向 (︿/﹀) ボタンを押して放送局を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

ENTER

再生が開始されます。

## vTuner Internet Radio の番組をお気に入りに登録する

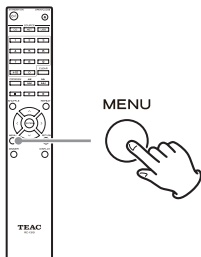
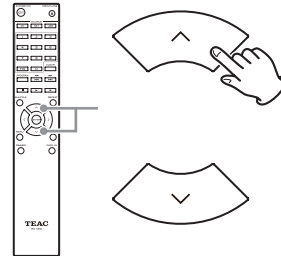
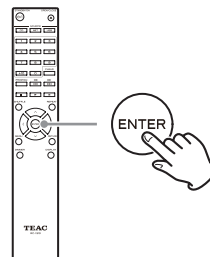
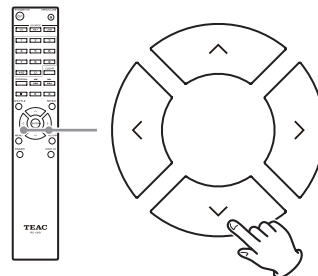
vTuner Internet Radio の特定の番組 ( プログラム ) を、再生しやすいようにお気に入りに登録できます。二通りの方法があります。

### 「My Favorites」に登録する

ネット (NET) ボタンを押した後に表示されるネットワークサービスメニューの「My Favorites」メニューに、お気に入りの番組を登録します。

**1** 登録するラジオ局を選び、リモコンのメニュー (MENU) ボタンを長押しする。

- ラジオ局は再生していても登録できます。

MENU

**2** 方向 (︿/﹀) ボタンを押して「My Favorites に登録」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

**3** ラジオ局の名前を変更せずに登録する場合は、方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタンを押して「OK」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。ラジオ局の名前を変更して登録する場合は、方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタンを押して文字を入力し、最後に「OK」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

ENTER

## vTuner Internet Radio の「ブックマーク」に登録する

vTuner Internet Radio を選び、[ENTER] ボタンを押せば、ジャンル / 地域などと同じ画面に「ブックマーク」のフォルダーが表示されます。この中にお気に入りのインターネットラジオ番組を登録します。

### ユーザー登録の方法

**1** 本機と同じネットワークに接続されているパソコンを使い、パソコンの Web ブラウザを開き、以下の URL にアクセスする。

http://teac.vtuner.com/

ここでは日本語のページで登録する方法を説明します。

**2** vTuner のホーム画面左上にある日本国旗をクリックして日本語のページにする。

**3**「Not a member? Register here.」をクリックして、ログインアカウントページを開く。

**4** MAC アドレス (12 桁 ) を入力する。

英数字の間の「:」は入力しないでください。

- 本機の MAC アドレスの確認方法は「NET Setting」(43 ページ) をご覧下さい。

**5** E メールアドレスとパスワードを入力する。

入力方法は登録画面の案内に従ってください。
電子メール アドレス：ログイン ID になります。
パスワード：ログイン時に必要になりますので、必ずメモしてください。

**6**「登録」をクリックしてユーザー登録を完了する。

### ラジオ局をお気に入りリストに追加する

**1** お気に入りリストに追加する放送局を選ぶ。

ジャンル別、地域別、言語別の表示に切り換えたり、お好きな方法で放送局を選んでください。

**2** お気に入りグループを作成する。

例えば「お気に入り 1」や「ポップス」などの名前をつけていくつもグループを作ることができます。グループ名をダイアログボックスに入力して「go」ボタンをクリックしてください。入力したグループ名が「お気に入りグループ」に追加されます。

**3**「お気に入りグループ」を呼び出す。

ログイン後のポータルサイト「お気に入りグループ」もしくは、本機のインターネットラジオメニューの「My Favorites( お気に入り )」で見ることができます。
お気に入りリストから放送局を削除するには、♥ー ボタンをクリックしてください。ダイアログが表示されます。

# My Favorites

本機は、PLS 形式、M3U 形式、および Podcast(RSS) 形式のインターネットラジオ局に対応しています。これらの形式のインターネットラジオ局であっても、データの種類や再生フォーマットによって、再生できないこともあります。
radiko.jp や vTuner Internet Radio 以外のインターネットラジオ番組を聴くには、以下の手順で番組をネットワークサービスメニューの「My Favorites」メニューに登録します。

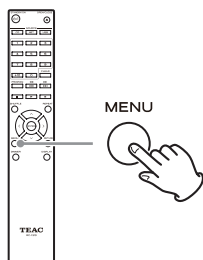
- インターネットラジオ番組を聴くにはインターネットに接続する必要があります。(43 ページ )
- My Favorites の設定を行うにはパソコンと本機を同じネットワークに接続する必要があります。

**注意**

サービスプロバイダーがサービスを終了していると、本機でそのネットワークサービスやコンテンツを利用できなくなる場合があります。

## 番組を登録する

**1** メニュー (MENU) ボタンを押す。

MENU

**2** 方向 (∧/∨) ボタンを押して「NET Setting」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

**3**「IP Address」が表示されるので、エンター (ENTER) ボタンを押す。

IP アドレスをメモに控えてください。

**4** パソコンの電源を入れ、Internet Explorer などのインターネットブラウザを開く。

**5** インターネットブラウザの URL 欄に本機の IP アドレスを入力する。

インターネットブラウザに本機の情報 (WEB Setup 画面 ) が表示されます。

- Internet Explorer をご利用の場合は「ファイル」から「開く」を選び、IP アドレスを入力する方法もあります。

TEAC
WEB Setup Menu
Unit information
My Favorites
Network setting
Save
Refresh
製品情報
製品名 CD-P800NT
機器名 CD-P800NT
MACアドレス
自動再生 Yes
ネットワーク情報
Edit
IPアドレス 192.168.9.12
サブネットマスク 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ 192.168.9.1
優先DNSサーバー 192.168.9.1
代替DNSサーバー 0.0.0.0

**6**「My Favorites」タブをクリックして、インターネットラジオ局の名前と URL を入力する。

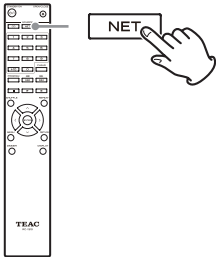
- インターネットラジオ局の名前は、最大 10 文字まで入力できます。

**7**「Save」をクリックしてインターネットラジオ局を登録する。

登録したインターネットラジオ局は「My Favorites」に追加されます。

## 再生する

**1** ネット (NET) ボタンを押す。

NET

**2** ネットワークサービスメニューの「My Favorites」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押してインターネットラジオ局を表示させる。

**3** 登録したインターネットラジオ局を選んでエンター (ENTER) ボタンを押します。

**メモ**

- リモコンのメニュー (MENU) ボタンを長押ししてから、方向 (︿/﹀) ボタンで「Stations like this」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押すと、再生中の局と似た放送局を表示できます。
- 「My Favorites」メニューに新しいラジオ局を追加したい場合は、リスト内のブランクを選びメニュー (MENU) ボタンを長押ししてからエンター (ENTER) ボタンで「新しいステーションを追加」を選びます。再度エンター (ENTER) ボタンを押すと、入力可能な文字列が表示されるので、名前と URL を入力します。
- 登録したラジオ局を削除する場合は、再生中のラジオ局またはラジオ局を選びメニュー (MENU) ボタンを長押ししてから、方向 (︿/﹀) ボタンで「My Favorites から削除」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押します。また WEB Setup からでも削除できます。
- 登録したラジオ局の名前を変更する場合は、ラジオ局を選びメニュー (MENU) ボタンを長押ししてから方向 (︿/﹀) ボタンで「ステーション情報を変更」を選びエンター (ENTER) ボタンを押します。
- インターネットラジオ局は 40 局まで登録できます。

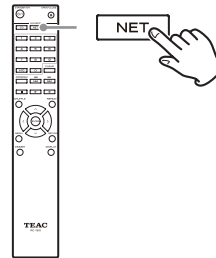
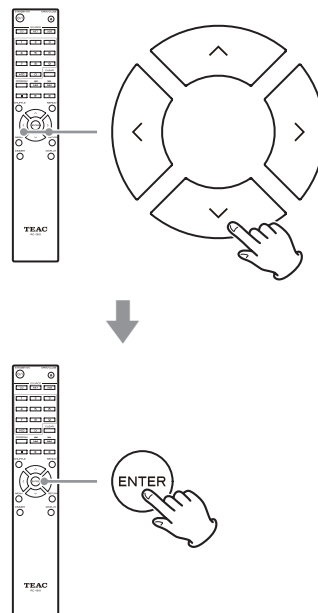
# DLNA

DLNA を使用すると、共有ライブラリーにある音楽ファイルのアーティスト名、ジャンル、アルバム名などのタグ情報を見るだけでなく、再生もできるようになります。

- DLNA を使用するにはネットワークサーバーと本機をネットワークに接続する必要があります。
- 対応しているネットワークサーバーは「サーバーについて」(11 ページ) をご覧ください。
- あらかじめネットワークサーバーに本機がアクセスできるように設定をしてください。設定方法は、ネットワークサーバーの取扱説明書をご覧ください。Windows Media Player を使用する場合は、「Windows Media Playerの設定」(38 ページ) をご覧ください。

**1** パソコンまたはネットワークサーバーを起動する。

**2** ネット (NET) ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させる。

NET

**3** 方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタンを押して「DLNA」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

ENTER

次のページへ続きます。➡

**4** 方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタンを押してネットワークサーバーを選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

ネットワークサーバーの項目が表示されます。

- サーチ機能に対応していないネットワークサーバーでは、サーチ機能は働きません。
- 本機はネットワークサーバーにある写真や動画にアクセスすることはできません。
- ネットワークサーバーの共有設定によっては、内容を表示できない場合があります。ネットワークサーバーの取扱説明書をご覧ください。

**5** 方向 (︿/﹀) ボタンを押して再生したい音楽ファイルを選び、エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (►) ボタンを押す。

- メディアサーバーによっては、早送り / 早戻り / 一時停止の操作が機能しない場合があります。
- サーバーから情報が取得できないと「No Item」というメッセージが表示されます。この場合は、サーバーおよびネットワークの接続を確認してください。
- Windows Media Player のライブラリーに音楽ファイルを追加した直後は、新しい音楽ファイルが本機の音楽ファイル一覧に表示されないことがあります。これは、Windows ライブラリーのインデックスが更新されていないためです。インデックスが自動で更新されるのを待つか、手動でインデックスを再構築してください。操作手順は Windows のオンラインヘルプをご覧ください。

## リモート再生する

リモート再生とは、ホームネットワーク内の DLNA 準拠のコントローラー機器やパソコンを操作することにより、それぞれの機器に保存された音楽ファイルを本機で再生する機能です。

- My Favorites の設定を行うには DLNA 準拠のコントローラー機器やパソコンと本機をネットワークに接続する必要があります。

**1** 本機の電源を入れる。

**2** パソコンの電源を入れ、Windows Media Player を開く。

あらかじめ、Windows Media Player の設定をしておく必要があります。(38 ページ )

**3** Windows Media Player で再生したい音楽ファイルを選び、右クリックする。

右クリックメニューが表示されます。

**メモ**

別のネットワークサーバー内の音楽ファイルをリモート再生するには、「その他のライブラリ」からネットワークサーバーを開き、再生したい音楽ファイルを選びます。

**4**「リモート再生」から本機を選ぶ。

Windows Media Player の「リモート再生」ウィンドウが開き、本機で再生が開始されます。
リモート再生中の操作は、お使いの Windows 7 の「リモート再生」ウィンドウで行います。

- 以下のいずれかの場合、本機はリモート再生できません。
  - · ネットワークサービスを使っている。
  - · USB デバイスまたは iPod/iPhone の音楽ファイルを再生している。

# Home Media

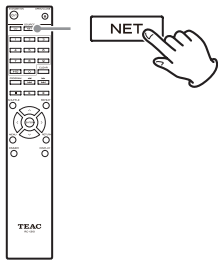
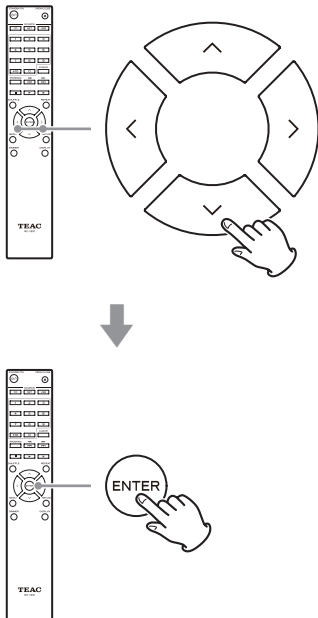
本機と同じネットワークに接続されたパソコンまたは、NAS(Network Attached Storage) の共有フォルダー内の曲を再生します。

あらかじめ「共有フォルダーの設定」(39 ページ ) で本機がアクセスできる共有フォルダーを作成してください。

**注意**

NAS(Network Attached Storage) をお使いの場合は、お手持ちの NAS の取扱説明書をご確認ください。

**1** ネット (NET) ボタンを押して、ネットワークサービスメニューを表示させる。

NET

**2** 方向 (∧/∨/〈/〉) ボタンを押して「Home Media」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

ENTER

**3** 方向 (∧/∨) ボタンを押して、サーバーを選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

- お使いのパソコンのサーバー名は、パソコンのプロパティから確認できます。

**4** 方向 (∧/∨) ボタンを押して、共有フォルダーを選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

**5** ユーザー名とパスワードを要求されたら、必要なアカウント情報を入力する。

- 一度入力されたアカウント情報は保存され、次回からの入力が不要になります。
- アカウント情報については、共有フォルダーの作成時に設定したアカウント情報を使用してください。

**6** 方向 (∧/∨) ボタンを押して再生したい音楽ファイルを選び、エンター (ENTER) ボタンまたは再生 (►) ボタンを押す。

再生が開始されます。

# Windows Media Player の設定

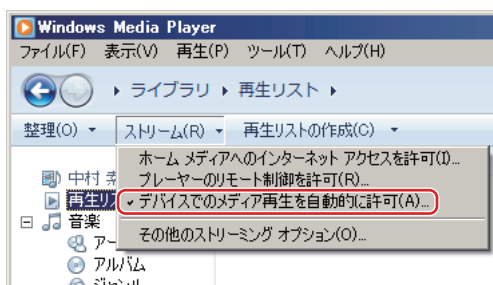
Windows Media Player 12 を例に設定の説明をします。

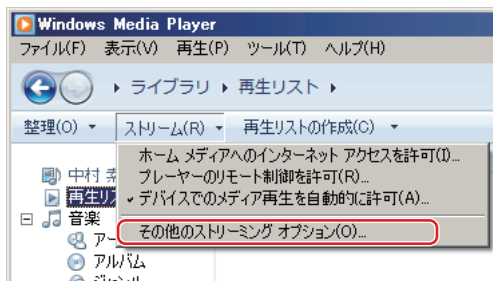
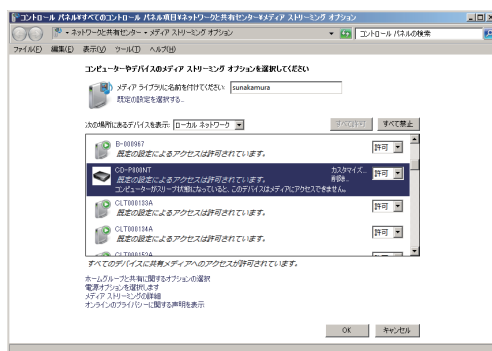
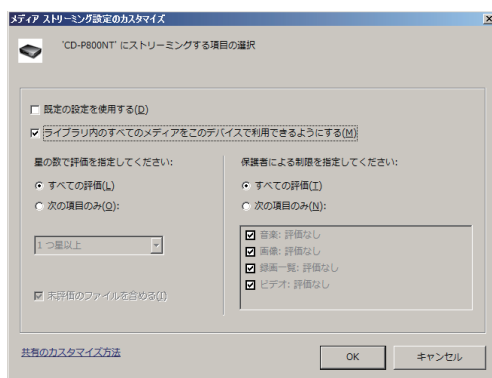
## 1 パソコンをネットワークに接続する。

## 2 本機をネットワークに接続する。

ネットワークに接続できないときは、「困ったときは」の「DLNA」をご覧ください。

- 共有したいファイルが Windows Media Player のライブラリーにないときは、ファイルをライブラリーに追加してください。
  詳しくは、Windows Media Player のヘルプをご覧ください。

## 3 Windows Media Player の「ストリーム」から「デバイスでのメディア再生を自動的に許可」を選ぶ。

- 「デバイスでのメディア再生を自動的に許可」または「その他のストリーミングオプション」が表示されない場合は、「メディアストリーミングを有効にする」を選択して、メディアストリーミングを有効にしてください。

## 4 Windows Media Player の「ストリーム」から「その他のストリーミングオプション」を選ぶ。

## 5 デバイスの一覧から本機を選び、「カスタマイズ」をクリックする。

## 6 共有の設定をし、「OK」をクリックする。

- 「すべての評価」を選ぶと、評価に関わらず再生することができます。
- 「音楽」にチェックマークが付いていることを確認してください。

## 7 表示された画面で「OK」をクリックする。

再生のしかたについては、「DLNA」(35 ページ) をご覧ください。

# 共有フォルダーの設定

## Windows 8

### 1 パソコンが属しているドメイン名とワークグループ名を確認する。

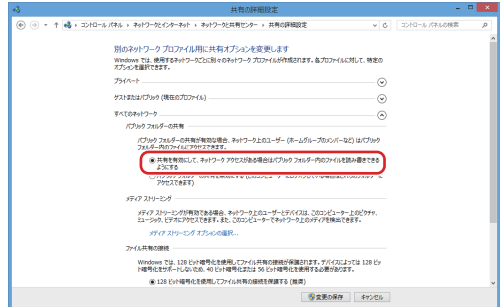
フォルダー共有の設定をする前に、同じドメインまたはワークグループにパソコンが属していることを確認してください。(初期設定では同じワークグループに属しています。)「コントロール パネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」を順に選び、確認してください。

### 2 ユーザーアカウント名とパスワードを確認する。

本機からパソコンにアクセスするときは、ユーザーアカウント名とパスワードが必要になります。

### 3 「コントロール パネル」➡「ネットワークとインターネット」➡「ネットワークと共有センター」を順に選ぶ。

### 4 「共有の詳細設定の変更」をクリックする。

### 5 「パブリック フォルダーの共有」の「共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダー内のファイルを読み書きできるようにする」を選ぶ。

### 6 本機で再生したいファイルを、「パブリック」の「パブリックのミュージック」フォルダーにコピーする。

## Windows 7

### 1 パソコンが属しているドメイン名とワークグループ名を確認する。

フォルダー共有の設定をする前に、同じドメインまたはワークグループにパソコンが属していることを確認してください。(初期設定では同じワークグループに属しています。)「コントロール パネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」を順に選び、確認してください。

### 2 ユーザーアカウント名とパスワードを確認する。

本機からパソコンにアクセスするときは、ユーザーアカウント名とパスワードが必要になります。

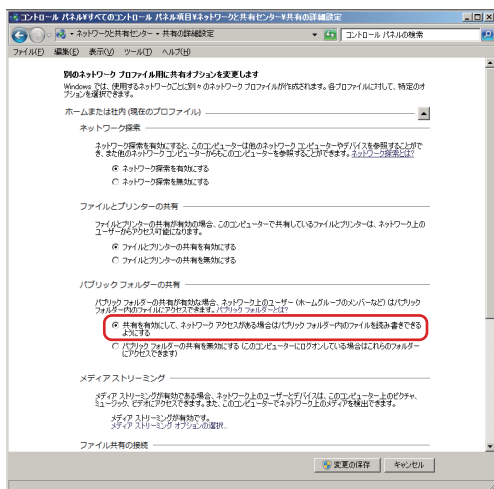
### 3 「コントロール パネル」➡「ネットワークと共有センター」を順に選ぶ。

- 表示方法を「カテゴリ」にしている場合は、「コントロールパネル」➡「ネットワークとインターネット」➡「ネットワークと共有センター」の順に選んでください。

次のページへ続きます。➡

# 共有フォルダーの設定（続き）

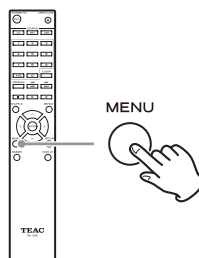
### 4 「共有の詳細設定の変更」をクリックする。

### 5 「パブリック フォルダーの共有」の「共有を有効にして、ネットワークアクセスがある場合はパブリックフォルダー内のファイルを読み書きできるようにする」を選ぶ。

### 6 「変更の保存」をクリックする。

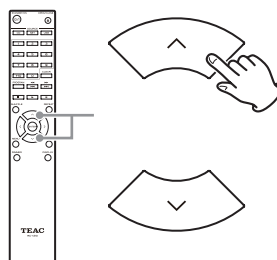
### 7 本機で再生したいファイルを、「パブリック」の「パブリックのミュージック」フォルダーにコピーする。

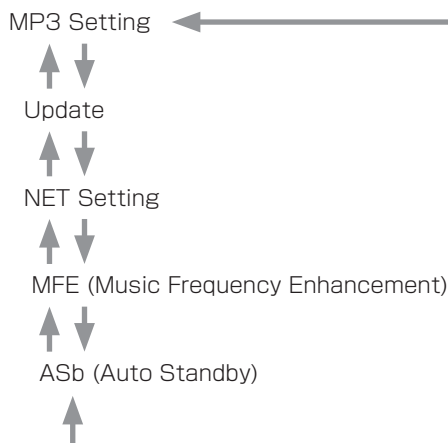
# 設定

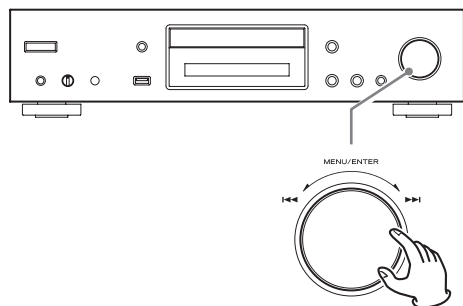
以下の手順でメニューを表示させ、設定値を変更します。

### 1 メニュー (MENU) ボタンを押す。

MENU

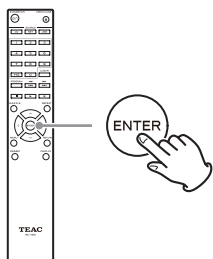
- 本体で操作する場合は、メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を長押しします。

### 2 方向 (∧/∨) ボタンで変更したい設定項目を選ぶ。

方向 (∧/∨) ボタンを押すたびに以下のように設定項目が変わります。

MP3 Setting
↕
Update
↕
NET Setting
↕
MFE (Music Frequency Enhancement)
↕
ASb (Auto Standby)

- 「MFE」は再生ソースが USB/NET のときのみ表示されます。
- 「MP3 Setting」は再生ソースが CD のときのみ表示されます。
- 最初に表示される設定項目は再生ソースによって異なります。

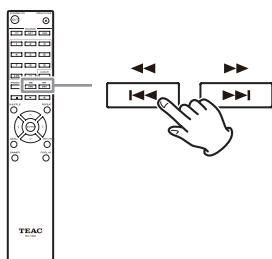
- 本体で操作する場合は、メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を回してください。



## 3 エンター (ENTER) ボタンを押す。

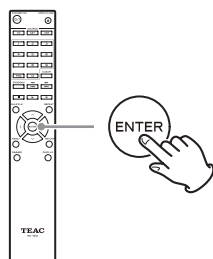
本体で操作する場合は、メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を押します。



「MP3 Setting」、「NET Setting」の場合は、2と1の手順を繰り返してサブメニューも選択してください。

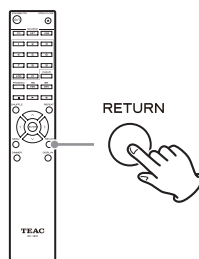
- 「NET Setting」「Update」の選択および変更には、電源投入から 1 分程度かかります。

## 4 スキップ ( ⏮ / ⏭ ) ボタンを押して、設定値を変更する。



- 本体で操作する場合は、メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を回してください。

## 5 エンター (ENTER) ボタンを押して確定する。



- 本体で操作する場合は、メニュー / エンターダイヤル (MENU/ENTER) を押してください。

## 6 設定が終了したら、リターン (RETURN) ボタンを押してメニュー画面を抜ける。



**注意**

「NET Setting」のサブメニュー表示後、リターン (RETURN) ボタンを押すと「Network Save? 」が表示されます。エンター (ENTER) ボタンを押して設定を保存してください。リターン (RETURN) ボタンを押してメニュー画面を抜けると設定値が保存されません。

## MP3 Setting

MP3/WAV ファイル情報の表示方法を選択したり、MP3/WAV ディスクの再生方法などを設定することができます。
この設定はディスク停止中のみ変更できます。

### BAD NAME ( バッド ネーム )

MP3/WAV ファイル情報の表示方法を選択します。

- ID3 タグ情報については、設定に関係なく表示できない文字を下線で表示します。

**Replace**

曲名やフォルダー名に、表示できない文字が含まれている場合､「File_n」や「Folder_n」(n は曲番 / フォルダー番号 ) に置き換えて表示させます。

**Not ( 出荷時設定 )**

表示できる文字は表示し、できない文字は「*」で表示します。

### ID3 VER.1

ID3 Version1.0/1.1 のタグ情報の表示を設定します。

**Read ( 出荷時設定)**

タグ情報を読み込んで表示します。

**Not Read**

タグ情報を表示しません。

### ID3 VER.2

ID3 Version2.2/2.3/2.4 のタグ情報の表示を設定します。

**Read ( 出荷時設定)**

タグ情報を読み込んで表示します。

**Not Read**

タグ情報を表示しません。

### HIDE NUMBER ( ハイド ナンバー )

曲名やフォルダー名の先頭に番号がついている場合、番号表示を隠すことができます。

**Disable ( 出荷時設定 )**

番号を表示します。

**Enable**

番号を隠します。

**メモ**

MP3/WAV CD をパソコンで作成した場合、通常ファイルの再生順序は決められません。ただし、MP3/WAV ファイルの先頭に 01、02、03 のように番号を付けると順番に再生されます。

### STOP KEY ( ストップ キー )

本体の停止 (■) ボタンを押したときの設定を行います。

**Navigation ( 出荷時設定 )**

停止 (■) ボタンを押すとナビゲーションモードになります。

**All Folder**

停止 (■) ボタンを押すとオールフォルダーモードになります。

**Disable**

停止 (■) ボタンを押しても､ナビゲーションモード､オールフォルダーモードにはなりません。

## MFE (Music Frequency Enhancement)

MP3 などの非可逆圧縮ファイルでは、音源の圧縮により、もとの音源よりも音質が低下しています。
MFE を使用することにより、圧縮された音源の最適化を行います。

**Disable ( 出荷時設定 )**

MFE を使用しません。

**Enable**

MFE を有効にします。

## ASb (Auto Standby)

オートスタンバイ (Auto Standby) 機能が有効のとき、以下の条件で本機を 20 分間操作しないと、自動的にスタンバイに移行します。

| 再生ソース | 条件 |
|---|---|
| CD | ディスクなしまたは、ディスク停止 |
| NET<br>USB | 入力ソースを再生していないこと |

本機能を有効にすると、ディスプレーに「ASb」表示を点灯します。
移行するスタンバイの状態は、「Net Standby」で設定します。(43 ページ )

**Off ( 出荷時設定)**
　オートスタンバイ機能を無効にします。

**On**
　オートスタンバイ機能を有効にします。

## NET Setting

ネットワークサービスを使う場合、あらかじめ本機のネットワーク設定を行ってください。
設定は、接続するネットワーク環境に合わせて行ってください。

- radiko.jp、vTuner Internet Radio、その他のインターネットラジオを聴くにはインターネットに接続する必要があります。
- 「Net Standby」は本機をネットワークに接続するための設定ではありません。

**注意**

- DHCP の設定が Enable ( 出荷時設定) の場合、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」の設定は表示のみとなり、変更できません。
DHCP の設定が Disable の場合、「IP Address」、「Subnet Mask」、「Gateway」、「DNS Server」を設定する必要があります。
- 「NET Setting」のサブメニュー表示後、リターンボタン (RETURN) を押すと「Network Save? 」が表示されます。設定を変更するときは、エンターボタン (ENTER) を押して保存してください。リターンボタン (RETURN) を押してメニュー画面を終了すると、変更した設定は反映されません。

以下の順番でサブメニューが表示されます。

**IP Address**
　IP アドレスを表示 / 設定します。

**MAC Address**
　本機の MAC アドレスを表示します。

**DHCP**

　**Enable ( 出荷時設定)**
　　DHCP 有効

　**Disable**
　　DHCP 無効

**Subnet Mask**
　サブネットマスクを表示 / 設定します。

**Gateway**
　デフォルトゲートウェイを表示 / 設定します。

**DNS Server**
　DNS サーバーアドレスを表示 / 設定します。

**Proxy URL**
　Proxy サーバーアドレスを設定します。

**Proxy Port**
　Proxy ポート番号を設定します。

- Proxy URL を設定した時のみ表示されます。

**Net Standby**
　スタンバイ状態のときに、ネットワークを通じて本機をコントロールできるかどうかを設定します。

　**Disable ( 出荷時設定)**
　　ネットワークを通じて本機をコントロールできません。

　**Enable**
　　ネットワークを通じて本機をコントロールできます。

- 「Enable」に設定している場合、スタンバイ状態での消費電力が増加します。

# 設定 ( 続き )

## Update

本機のファームウェアをアップデートできます。アップデート中は、本機の電源をスタンバイにしないでください。

- アップデート手順は「ファームウェアアップデート」(45 ページ ) をご覧ください。

### Version

現在のファームウェアのバージョンを表示します。
本機のファームウェアには、Main と DSP の 2 種類があります。
バージョン表示は以下のフォーマットで表示されます。

abcd-ef00-000
Main: a.bc
DSP: d.ef

表示例

1001-0100-000
と表示された場合、ファームウェアのバージョンは以下のようになります。
Main: 1.00
DSP: 1.01

### CDP via USB?

USB メモリー経由でファームウェアをアップデートします。

# 文字を入力する

「NET Setting」や「My Favorites」メニューなど、文字を入力するときは以下の方法で文字を入力します。

**1 リモコンの方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタンを使って文字・記号を選び、[ENTER] ボタンを押す。**

この操作をくり返して、文字を入力します。

- 「My Favorites」のインターネットラジオ局の名前は最大 10 文字まで入力できます。

**2 入力が終わったら、リモコンの方向 (︿/﹀/〈/〉) ボタンを使って「OK」を選び、「ENTER」ボタンを押す。**

この操作を行わないと入力した文字が保存されません。

### 入力できる文字は以下の通りです。

| a | b | c | d | e | f | g | h | i | j | k | l | m |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| n | o | p | q | r | s | t | u | v | w | x | y | z |
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 0 | – | = | ` |
| { | } | ¦ | : | " | < | > | ? | Space | | | | |
| Shift | | | | | ← | → | BS | | OK | | | |

| A | B | C | D | E | F | G | H | I | J | K | L | M |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| N | O | P | Q | R | S | T | U | V | W | X | Y | Z |
| ! | @ | # | $ | % | ^ | & | * | ( | ) | _ | + | ~ |
| [ | ] | ＼ | ; | ’ | , | . | / | Space | | | | |
| Shift | | | | | ← | → | BS | | OK | | | |

Space ( スペース )
1 文字分空白のスペースを入力します。

Shift ( シフト )*
表示する文字が切り換わります。

← ( 左 ) / → ( 右 )
名前入力エリア内でカーソルを移動するときに選びます。

BS ( バック スペース )**
カーソル位置から、左側の文字を削除します。カーソル位置は左に動きます。

OK
入力が完了したときに押します。

* [+10] ボタンを押すことでも切り換わります。

** [CLEAR] ボタンを押すと、入力したすべての文字を削除できます。

# ファームウェアアップデート

USB端子を利用してファームウェアをアップデートできます。

- アップデートには、容量が 32MB 以上の USB メモリーが必要となります。

## 最新ファームウェアの入手

最新ファームウェアは、ティアックホームページの CD-P800NT 製品ページで公開しています。
(なお、ファームウェアが掲載されていない場合、更新はありません)

http://teac.jp/

トップページ右上の「サイト内検索」に「CD-P800NT」と入力していただくことで製品ページを簡単に検索できます。
ファームウェアを入手してから、以下の操作を行ってください。

- 以下のメニューで現在のファームウェアのバージョンを確認できます。(44 ページ)

  Update → Version

## アップデートする際の注意

- アップデートする前に、再生を停止し、USB 端子への接続をすべて外してください。
- アップデート中は、絶対に本機の電源をスタンバイにしたり、電源コードやアップデート用 USB メモリーを抜かないでください。
- アップデート中は、パソコンから本機へアクセスしないでください。
- アップデート完了までは、約 5 分かかります。
- アップデート完了後も、設定は保持されます。

## アップデート手順

**1 お使いのパソコンに USB メモリーを接続し、USB メモリー内にファイルがある場合は消去する。**

**2 当社ホームページからパソコンにファームウェア・ファイルをダウンロードする。**

ファームウェアには、以下のようなファイル名がついています。

TC_CRNF002_00000000TA00TJ_***.zip

パソコン上でこのファイルを解凍してください。下記の 2 つのファイルができます。

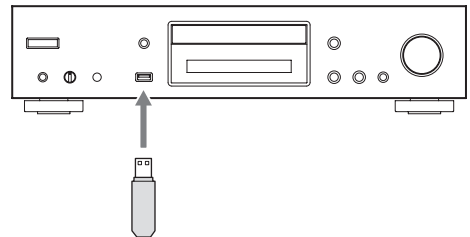
TC_CRNF002_00000000TA00TJ.of1
TC_CRNF002_00000000TA00TJ.of2

- 解凍したファイルのファイル名は変更しないでください。

**3 解凍したファイルを USB メモリーのルートフォルダーにコピーする。**

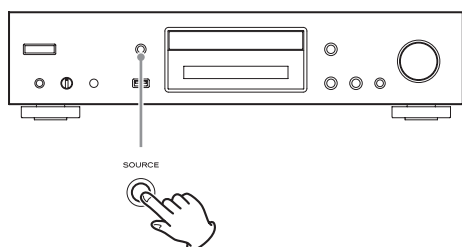
解凍した 2 つのファイル以外はコピーしないでください。解凍前のファイルもコピーしないでください。

**4 本機の電源が入っていることを確認する。**

**5 解凍したファイルをコピーした USB メモリーをフロントパネルの USB 端子に接続する。**

次のページへ続きます。➡

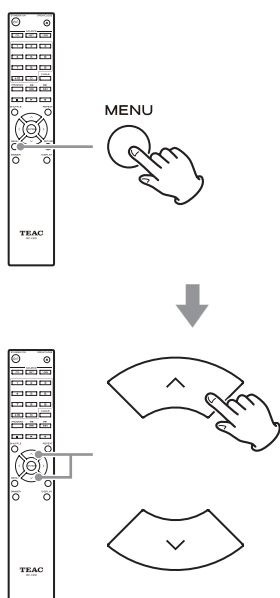
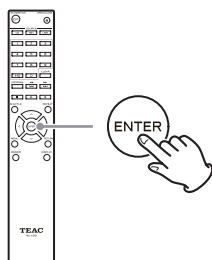
# ファームウェアアップデート ( 続き )

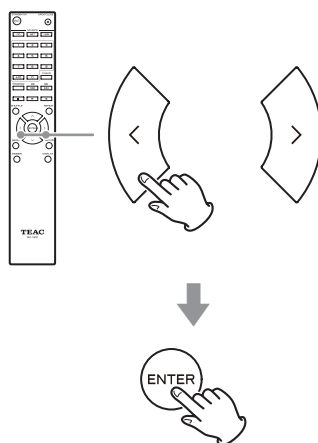
**6** 入力切換 (SOURCE) ボタンを押して、再生ソースを「USB(F)」にする。

SOURCE

表示部に「Now Initializing...」と表示された後、USBメモリー名が表示されます。

- USB メモリーを認識するのに 20 ~ 30 秒かかります。

**7** メニュー (MENU) ボタンを押してメニューを表示させ、方向 (︿/﹀) ボタンで「Update」を選ぶ。

MENU

**8** エンター (ENTER) ボタンを押す。

ENTER

**9** 方向 (〈/〉) ボタンで「CDP via USB?」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

ENTER

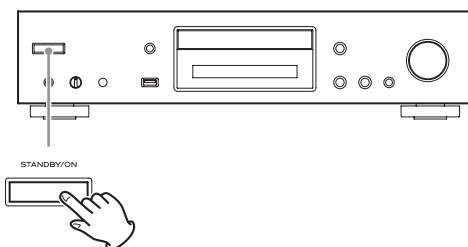
- アップデート可能なファームウェアが存在しない場合は、「Not Available」と表示され、アップデートできません。

**10**「UpdateStart?」を選び、エンター (ENTER) ボタンを押す。

本機はアップデートを開始します。

**11**「Complete」表示後に、USB メモリーを抜く。

**12** スタンバイ / オン (STANDBY/ON) ボタンを押して、本機をスタンバイ状態にする。

STANDBY/ON

- リモコンのスタンバイ / オン (⏻/I) ボタンは使用しないでください。
- 3 分間何もしなかった場合も、自動的にスタンバイ状態になります。

これでアップデートは完了です。本機は最新のファームウェアに更新されました。

# 困ったときは

## エラーコード

エラー時は、本機の表示部で「Error! *-**」と表示されるか、またはエラーメッセージが表示されます。( アスタリスクは表示される英数字を表しています。) エラーコードを参照し、確認してください。

| エラーコード | エラー内容および対処方法 |
|---|---|
| *-10、*-20 | USB メモリーが認識できません。<br>USB メモリーや USB ケーブルが、本機の USB 端子にしっかりと差し込まれているか確認してください。 |
| *-14 | USB メモリーのルートフォルダーにファームウェアファイルが存在しない、お使いの機種と異なるファームウェアファイルが使用されている、などが考えられます。CD-P800NT 製品ページの案内に従って、ファームウェアファイルのダウンロードからやり直してください。何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを巻末に記載のAVお客様相談室までご連絡ください。 |
| その他 | 最初からやり直してください。<br>何度か同じエラーが出るようでしたら、エラーコードを巻末に記載の AV お客様相談室までご連絡ください。 |

- アップデート中にエラーが発生した場合、一度電源プラグを抜き、再度コンセントに差し込み、もう一度アップデートを行ってください。

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) にご連絡ください。

### 一般

**電源が入らない**

➡ 電源プラグがコンセントから抜けていないか確認してください。
➡ 一度電源プラグをコンセントから抜き、5 秒以上待ってから、再度コンセントに差し込んでください。

**本機の電源が切れる**

➡ オートスタンバイ (Auto Standby) 機能を有効にすると、一定の条件下で自動的にスタンバイ状態に移行します。設定を確認してください。 (43 ページ )

**音が出ない**

➡ 入力ソースが正しく選択されているか確認してください。

**ヘッドホンから音が出ない**

➡ 接触不良の場合があります。ヘッドホンの端子を清掃してください。( 清掃方法については、ヘッドホンに付属の取扱説明書をご確認ください。) また、ヘッドホンケーブルの断線の可能性もありますので、ご確認ください。

**リモコンで操作できない**

➡ 電池が消耗している場合は、新しい電池に交換してください。
➡ リモコンは本体の正面から 5 メートル以内の距離で、本体のリモコン受光部に向けて操作してください。(15 ページ )
➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できませんので、位置を調整してください。
➡ 本体の近くに強い光の照明がある場合は、照明を切ってください。

**雑音がする**

➡ テレビや電子レンジなど、電磁波を出すものからはできるだけ離して設置してください。

## CD プレーヤー

**再生できない**

➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 何も録音されていないディスクが入っている場合は、録音されているディスクを入れてください。
➡ ディスクの品質や録音状態によっては、CD-R/CD-RW を再生できないことがあります。
➡ ファイナライズされていない CD-R/CD-RW は本機で再生できません。

**音飛びする**

➡ 震動を与えると音飛びします。本機は安定した場所に設置してください。
➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。
➡ 傷が付いたり、ヒビが入っているディスクは使わないでください。

## 音楽ファイル

**再生できない**

➡ ファイルのフォーマットを確認してください。再生可能ファイルは CD の場合「MP3/WAV について」(9 ページ )、USB およびネットワーク経由の再生は「本機で再生できる音楽ファイル」(10 ページ ) をご覧ください。

**曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない**

➡ ファイルに ID3 タグが入っていません。パソコンなどで ID3 タグを編集した MP3 ファイルを作成し直してください。

**正しく表示されない文字がある**

➡ 本機のディスプレーは半角のアルファベットと数字 (1 バイト文字 ) および日本語のかな、漢字表示に対応しています。ファイル名にその他の言語の全角文字 (2 バイト文字 ) が使われている場合、再生は可能ですがディスプレーに正しく表示できません。

## iPod/iPhone

**再生できない**

➡ iPod/iPhone をいったん USB 端子から外し、数秒経ってからもう一度接続してみてください。
➡ 最新の iPod/iPhone ソフトウェアにアップデートすることで問題が解決することがあります。
下記サイトにアクセスして最新のソフトウェアをダウンロードしてください。
http://www.apple.com/jp/downloads/

**iPod/iPhone の操作ができない**

➡ iPod/iPhone のホールドを解除してください。
➡ iPod/iPhone 側で音量の調節はできません。

## インターネットラジオ

**インターネットに接続できない**

➡ 同じネットワークに接続しているパソコンが、インターネットに接続できるか確認してください。
➡ ネットワーク接続のパスワードが間違っていないか確認してください。
➡ ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。
➡ 放送局 / ポッドキャストが現在は配信されていないかもしれません。
➡ 放送局 / ポッドキャストへのアドレスが変更されたかもしれません。
➡ 放送局 / ポッドキャストの登録者が規定の数に達しているため、すでに公開されていないかもしれません。
➡ インターネット接続速度が遅すぎると、サーチに時間がかかることがあります。

**インターネットラジオ / ポッドキャストが再生できない**

➡ 発信者側で、インターネット接続の一時的な不具合が発生していることがあります。
➡ インターネットに正しく接続されているか確認してください。

## DLNA

**ネットワークに接続できない**

➡ ネットワークのファイヤーウォールの設定を確認してください。
➡ 同じネットワークに接続している DLNA サーバーが、ネットワークに接続できるか確認してください。
➡ DLNA サーバーの接続パスワードが間違っていないか確認してください。
➡ DLNA サーバーがシャットダウン / スリープ状態になっていないか確認してください。
➡ ネットワーク認証に問題があると考えられます。入力切換 (SOURCE) ボタンを押して、NET を再度選んでください。

**曲が見つからない**

➡ Windows Media Player のライブラリに曲を追加してください。
➡ Windows のデバイス一覧で本機を選んでください。
➡ アンチウィルスソフトやセキュリティソフトを使用している場合は、本機がパソコンに接続できない場合があります。

## Home Media

**フォルダー / ファイルが見つからない**

➡ フォルダー / ファイル共有の設定をしてください。
➡ 共有フォルダーにファイルを追加してください。
➡ ユーザーアカウントのパスワードが間違っていないか確認してください。
➡ ファイル形式を確認してください。
➡ アンチウィルスソフトやセキュリティソフトを使用している場合は、本機がパソコンに接続できない場合があります。

**本機はマイコンを使用していますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合は一旦電源プラグをコンセントから抜き、しばらくしてから再び電源を入れて操作しなおしてください。**

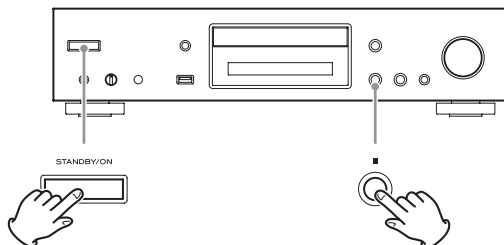
以上の操作をしても正常な動作にならない場合は、「工場出荷状態に戻すには」(49 ページ ) の手順で、初期設定状態に戻して再度操作してください。

# 工場出荷状態に戻すには

本機が正常に動作しない場合、以下の手順で工場出荷時の初期設定状態に戻すことによって、正常な状態に戻ることがあります。

### 電源を入れた状態で停止 (■) ボタンを押したままスタンバイ / オン (STANDBY/ON) ボタンを押す。

STANDBY/ON

■

**結露現象について**

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

# 仕様

## オーディオフォーマット

**CD 部**

CD-DA
- サンプリング周波数 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 44.1kHz
- 量子化ビット数 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 16 ビット

CD-DATA
- MP3
  - サンプリング周波数. . . . . 16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48kHz
  - ビットレート. . . . . . . . 8k ～ 320kbps および VBR
- WAV
  - サンプリング周波数. . . . . 8k/11.025k/12k/16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48kHz
  - 量子化ビット数 . . . . . . . . . . . . . . . . . 8/16 ビット

**NET、USB 部**

PCM
- MP3
  - サンプリング周波数. . . . . 8k/11.025k/12k/16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48kHz
  - ビットレート. . . . . . . . 8k ～ 320kbps および VBR
- WMA
  - サンプリング周波数. . . . . . . . . 8k/11.025k/16k/22.05k/32k/44.1k/48kHz
  - ビットレート. . . . . . . . 5k ～ 320kbps および VBR
- WMA Lossless
  - サンプリング周波数. . . 44.1k/48k/88.2k/96kHz
  - 量子化ビット数 . . . . . . . . . . . . . . . . 16/24 ビット
- WAV
  - サンプリング周波数. . . . . 8k/11.025k/12k/16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48k/64k/88.2k/96k/176.4k/192kHz
  - 量子化ビット数 . . . . . . . . . . . . . 8/16/24 ビット
- AAC
  - サンプリング周波数. . . . . 8k/11.025k/12k/16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48k/64k/88.2k/96kHz
  - ビットレート. . . . . . . . 8 ～ 320 kbps および VBR
- FLAC
  - サンプリング周波数. . 8k/11.025k/16k/22.05k/32k/44.1k/48k/64k/88.2k/96k/176.4k/192kHz
  - 量子化ビット数 . . . . . . . . . . . . . 8/16/24 ビット
- Ogg Vorbis
  - サンプリング周波数. . 8k/11.025k/16k/22.05k/32k/44.1k/48kHz
  - ビットレート. . . . . . 48k ～ 500kbps および VBR
- Apple Lossless
  - サンプリング周波数. . . . . 8k/11.025k/12k/16k/22.05k/24k/32k/44.1k/48k/64k/88.2k/96kHz
  - 量子化ビット数 . . . . . . . . . . . . . . . . 16/24 ビット
- DSD
  - サンプリング周波数. . . . . .2.8224M/5.6448MHz

## 入出力端子

LAN . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 100BASE-T

USB
- フロント . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . USB2.0 (Type A)（供給電源 +5V,1A)
- リア. . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . USB1.1 (Type A)（供給電源 +5V,500mA)

DIGITAL OUT
- COAXIAL . . . . . . . . . . . . . . . . . . RCA 0.5Vpp 75 Ω
- OPTICAL . . . . . . . . . . . . . . . . . . JEITA RC-5720B

LINE OUT L/R . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .RCA
- 出力インピーダンス . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .200 Ω
- 最大出力レベル . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 2Vrms
- 周波数特性. . . . . . 10Hz ～ 70kHz (+0.5dB, − 3dB)
- S/N 比. . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 114dB (1kHz,0dBfs,Fs192kHz,A-weight)
- ダイナミックレンジ . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 114dB (1kHz, − 60dBfs,Fs192kHz,A-weight)
- THD+N. . . . . . . . . . . . 0.002% 以下 (1kHz, 0dBfs)
- チャンネルセパレーション (Line) . . . . . . . . . . 110dB (1kHz,0dBfs,Fs192kHz)

ヘッドホン端子. . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . φ 6.3mm 55mW+55mW 以上 (32 Ω , THD+N 0.1%)
- S/N 比. .108dB (1kHz,0dBfs,Fs192kHz,A-weight)
- 周波数特性. . . . . . . . .20Hz ～ 60kHz(+1dB, − 3dB)

## 一般

電源 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . AC 100V (50,60Hz)

消費電力. . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 30W

待機電力. . . . . . . . . . . . . . . . . . 0.42W ( スタンバイ時 )
5.6W ( ネットワークスタンバイ時 )

外形寸法 ( 幅、高さ、奥行 ) . . . . . . 435x101x301mm（突起部を含む)

質量 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . 4.9kg

許容動作温度 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . .+5 ～ +35℃

許容動作湿度 . . . . . . . . . . . . 5 ～ 85% ( 結露の無いこと )

許容保管温度 . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . . − 20 ～ +55℃

## 付属品

RCA オーディオケーブル x 1
リモコン (RC-1310) x 1
リモコン用乾電池 ( 単 4) x 2
取扱説明書 ( 本書 ) x 1

- 仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

# 保証とアフターサービス（よくお読みください）

## ■保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。保証書は、お買い上げの際に販売店が所定事項を記入してお渡ししておりますので、大切に保管してください。万が一販売店印の捺印やご購入日の記載が無い場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できるものを一緒に保管してください。保証期間はお買い上げ日より 1 年です。

## ■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 ( 製品の機能を維持するために必要な部品 ) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

## ■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店または弊社サービス部門 ( 裏表紙に記載 ) にお問い合わせください。

## ■修理を依頼されるときは

47 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター ( 裏表紙に記載 ) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 ( 録音内容などの補償 ) の責についてはご容赦ください。

### 保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

### 修理料金の仕組み

技術料：故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。

部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

その他：製品を送るために必要な送料 / 梱包料などがあります。

### 修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：CD/ ネットワークプレーヤー　CD-P800NT
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況 ( できるだけ詳しく )

## ■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

### 分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

# 保 証 書

| 品名および形名 | CD/ ネットワークプレーヤー CD-P800NT | |
|---|---|---|
| 機番 | | |
| 保証期間 | 本体 | 1 年 |
| お買上げ日 | 年 月 日 | |
| お客様 | お名前 | 様 |
| | ご住所 | 〒 電話 ( ) |

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

| 販売店 | 所在地・名称 ( 印 ) 電話 ( ) |
|---|---|

見本

## 無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) メンテナンス
   (7) 本書の提示がない場合
   (8) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 ( 印 ) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの ( 保証責任者 )、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。


## ティアック株式会社　〒 206-8530　東京都多摩市落合 1-47　http://teac.jp


### この製品のお取り扱い等についてのお問い合わせ


**AV お客様相談室** 〒 206-8530 東京都多摩市落合 1-47

市内通話料金でOK ナビダイヤル **0570-000-701**


一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合


**電話：042-356-9235 / FAX：042-356-9242**


### 故障・修理や保守についてのお問い合わせ


**ティアック修理センター** 〒 358-0026 埼玉県入間市小谷田 858

市内通話料金でOK ナビダイヤル **0570-000-501**


一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

受付時間は、9:30 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

- ナビダイヤルがご利用頂けない場合


**電話：04-2901-1033 / FAX：04-2901-1036**


● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。


1114 MA-1981D